

設置説明書

食 器 洗 い 乾 燥 機

この機器の設置には資格が必要です。

型 式
RKWR-F402CA,RSW-F402CA

1	安全上のご注意	1	10	けこみ調節・下部扉昇降機構の取り付け	23
2	各部の名称および寸法図	3	11	上部固定金具の取り付け	24
3	付属品の確認	4	12	けこみカバーの取り付け	25
4	事前作業	4	13	設置後の点検	27
5	設置場所について	5	14	異常報知について	28
6	電気工事	7	15	お客様への説明	28
7	配管工事	8	16	幅45cm フロントオープンタイプの食器洗い乾燥機からの変更工事(例)	29
8	設置	11	17	仕様	30
9	試運転	22			

設置される方へのお願い

- この機器を正しく安全にご使用いただくために、この設置説明書をよくお読みになり、法律に基づいて指定された設置を行ってください。
- 配管工事はすべて、水道法、建築基準法、各都市の条例規定に準じてください。
- 設置が終わったら「13 設置後の点検」のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- 試運転終了後、安全のため水道の元栓を閉めてください。また配電盤のブレーカは OFF にしないでください。

1 安全上のご注意

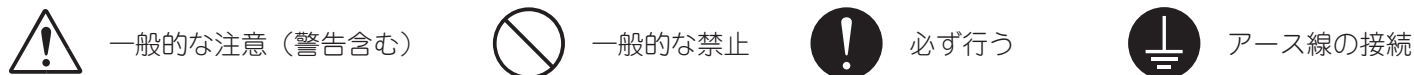
この設置説明書では製品を正しく設置をしていただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った設置をすると、あなたおよびお客様が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。
 注意	この表示を無視して誤った設置をすると、あなたおよびお客様が軽傷を負う可能性が想定される、また、物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

絵表示について次のような意味があります。



- 設置完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

 警告	
お客様へ	■据え付けはお買い上げの販売店、または専用業者に依頼する ご自分で据え付けをされ不備があると水漏れや感電・火災の原因になります。

⚠警告

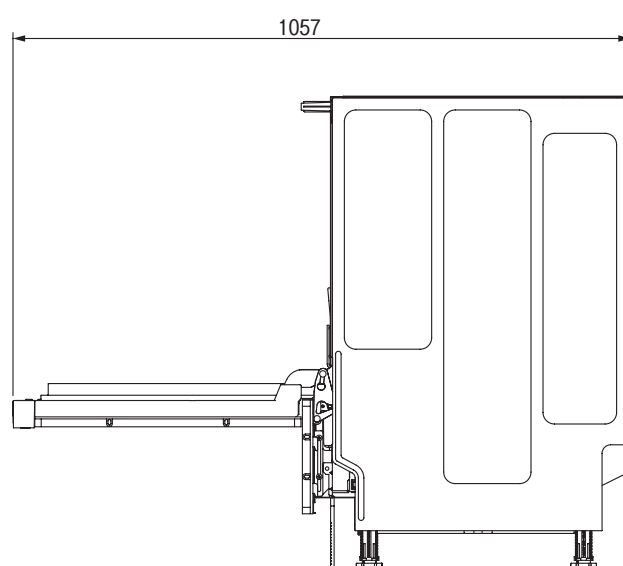
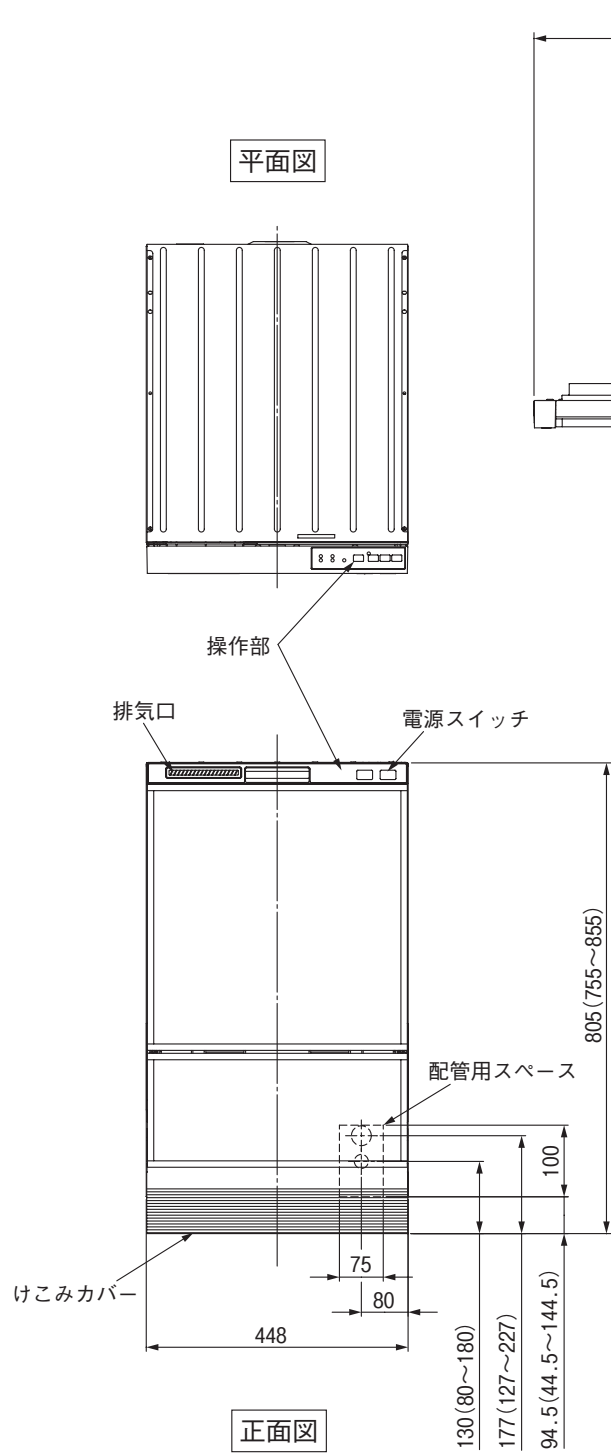
設置される方へ	■アースを確実に取り付ける ●故障や漏電のときに感電するおそれがあります。 ●アースの取り付けは販売店にご相談ください。	!
	■定格15A のコンセントを単独で使用する 他の機器と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。	!
	■電源プラグは刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく 火災の原因になります。	!
	■電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不十分の場合、感電や発火の原因になります。	!
	■食器洗い乾燥機の設置場所の傾きを 1° 以内にする 万一水漏れした場合、安全装置が作動せず、被害が大きくなる可能性があります。	!

⚠注意

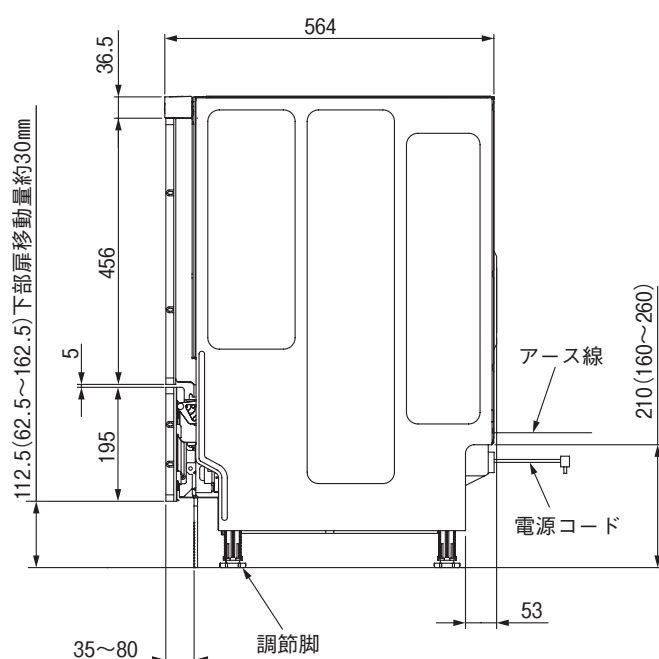
設置される方へ	■電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。	⊘
	■交流100V 以外では使用しない 火災・感電の原因となります。	⊘
	■電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。	⊘
	■設置部品は必ず付属品および指定部品を使用する 当社指定部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因になります。	!
	■製品の移動や据え付け時は手袋をして作業を行う 万一のけが防止のためです。	!
	■給湯、排水配管の端面はバリのないよう処理する。かつ管内に残っている異物（切り粉など）を完全に取り除く 配管つまりによる故障や、水漏れの原因となります。	!
	■凍結のおそれがある場所（室温 0℃ 以下）へは設置しない 水漏れの原因になります。	⊘
	■電源回路は専用回路として、漏電しゃ断器を設置する 主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。	!
	■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く 感電・ショート・発火の原因になります。	!
	■設置および試運転終了後、配電盤のブレーカは OFF にしない ブレーカが OFF になっていると、万一水漏れした場合、安全装置が作動せず、被害が大きくなる可能性があります。	⊘
	■元付け型の浄水器に接続しない 元付け型の浄水器に接続した場合、残留塩素濃度が 0.1ppm 未満となり屋内に給水される水が細菌などに汚染されるおそれがあります。※水道法の基準は 0.1ppm 以上	⊘

2 各部の名称および寸法図

(単位：mm)



ドア開放状態

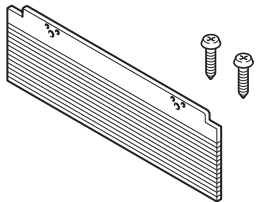
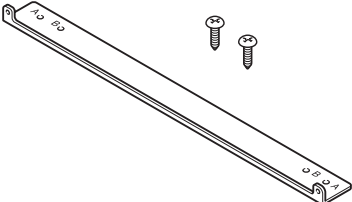
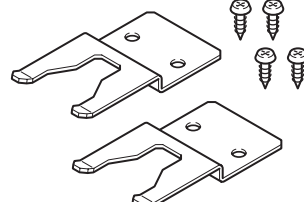
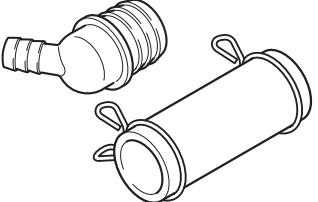
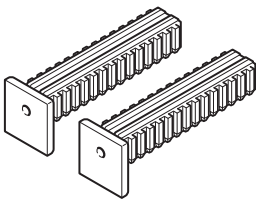
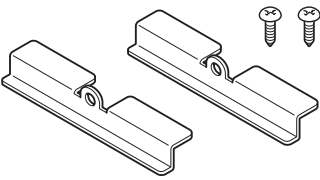
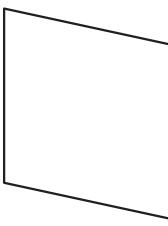
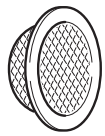
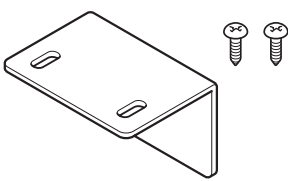


(図1)

(図2)

3 付属品の確認●設置を始める前に付属品の有無を確認してください。

●付属品は、本体の中に同梱されています。

設置に必要な付属品			
(設置用)		(配管用)	
○けこみカバー (1個) ○タッピンネジ (2本) (黒色) [呼び径4×長さ20mm] 	○移動防止金具A (1個) ○タッピンネジ (2本) [呼び径4×長さ12mm] 	○転倒防止金具 (2個) ○タッピンネジ (4本) [呼び径5×長さ16mm] 	○接続ジョイント (ホース、ソケット、 ホースバンド(2個)のセット) 
○けこみ調節 (2個) 	○移動防止金具前 (2個) ○タッピンネジ (2本) [呼び径4×長さ8mm] 	○型紙 (1枚)  (本体上部にあります)	○フィルター付パッキン (1個) (配管についています) 
○上部固定金具 ○タッピンネジ (2本) [呼び径4×長さ12mm] 			

●輸送のため、各部品にあて紙や梱包部材、輸送用固定テープがあるので、全部取り除いてください。

4 事前作業

フロントオープンタイプの食器洗い乾燥機の取りはずし

●既に設置されている幅45cmフロントオープンタイプの食器洗い乾燥機を取りはずしてください。

※製造メーカー、型式によって配管工事 (給水、排水)、電気工事の方法が異なります。

※ **16 幅 45cm フロントオープンタイプの食器洗い乾燥機からの変更工事(例)** を参照して作業してください。

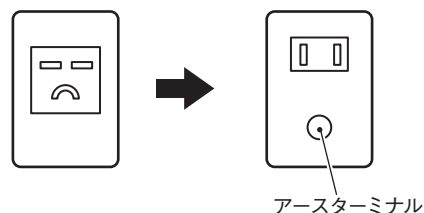
作業内容

①給水管および排水管を改造してください。

製造メーカー、型式によって必要です。

②電源を確認し、変更してください。

買い替え食器洗い乾燥機の電源は100V です。取りはずす機器の電源が200V の場合は電源を100V に変更し、125V、15A のアースターミナル付埋め込みコンセントを取り付けてください。(図3)



(図3)

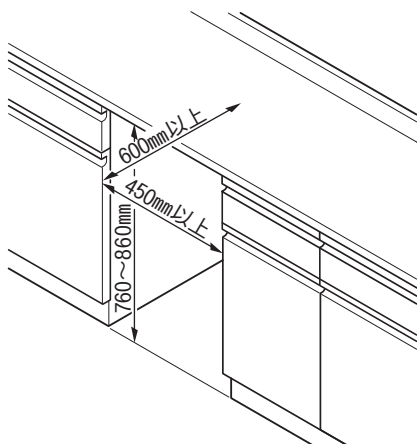
5 設置場所について

1 設置場所の確認

1. ビルトインスペースの確認

※奥行き寸法は、機器の前面より600mm以上必要です。

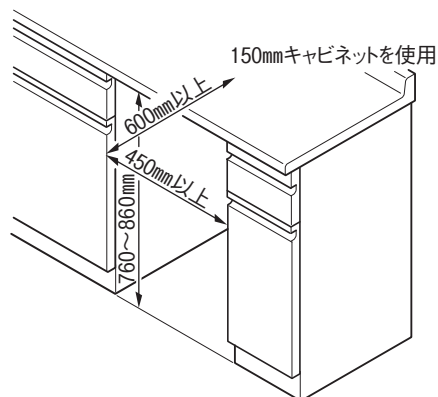
中間にビルトインする場合



(図4)

片側がフリーの場合

●片側がフリーの場合、幅150mm キャビネットなどを使用して、カウンターを支える処置をします。



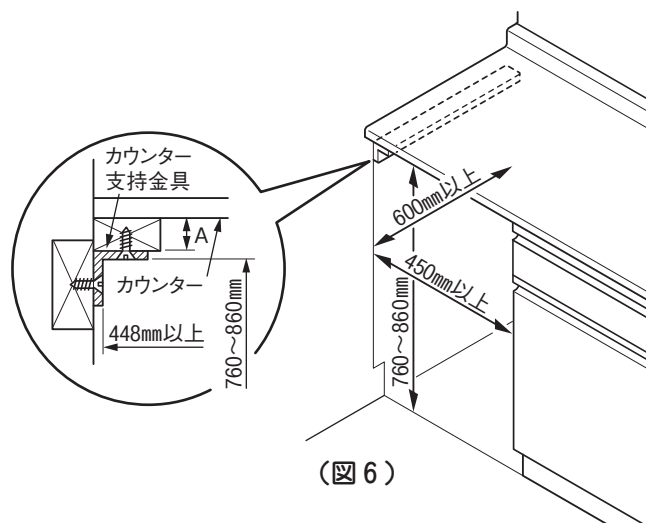
(図5)

片側が壁面または、トールユニットの場合

●カウンター支持金具は市販のL金具を使用します。

※締結ねじの長さは、右図のA寸法より5mm以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。(図6) 法令(電気設備の技術基準の解釈)により義務づけられています。

●ビルトイン型加熱機器などと並べて設置すると、カウンター上に荷重をかけた時、たわむことがあります。市販のL金具を使用して補強処置を施してください。



(図6)

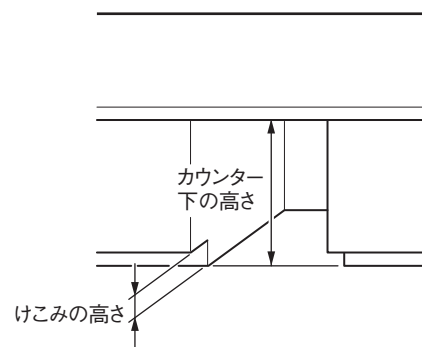
2. 本体高さ寸法の確認

●本体の高さを、カウンター下の高さより5mm低い寸法にします。

例) カウンター下の高さ760mmの場合

本体高さ寸法 $760 - 5 = 755$ (mm)

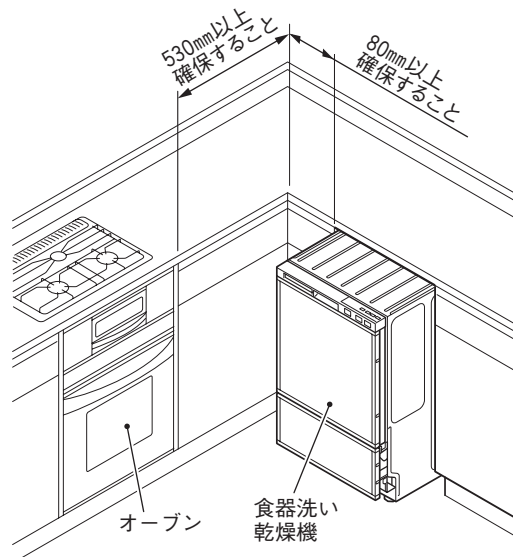
※本体高さの調整範囲は755~855mmです。



(図7)

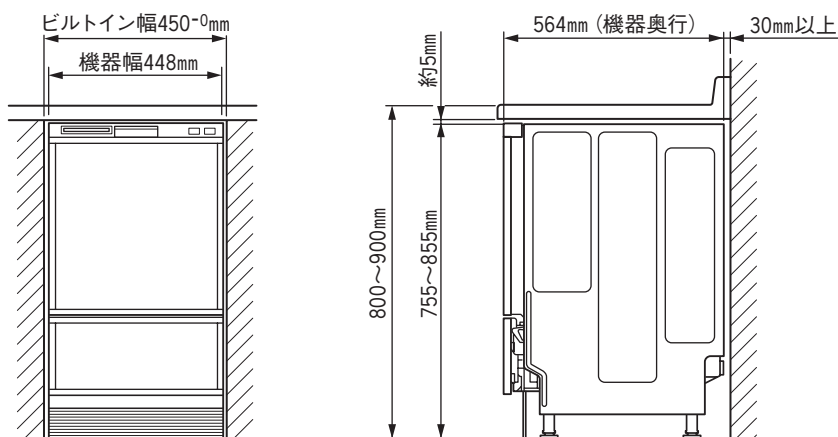
お願い

- L型配列のコーナー部に設置すると、本機のドアを開閉する際にオーブンの取っ手部に当たり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでドア開閉のスペースを確保してください。(図8)



(図8)

- 機器本体と可燃性のカウンター下面とは約5mm^{*}、後面は30mm以上離して設置してください。(図9)
- ^{*}本体上面にねじがあるので、必ず2mm以上確保してください。



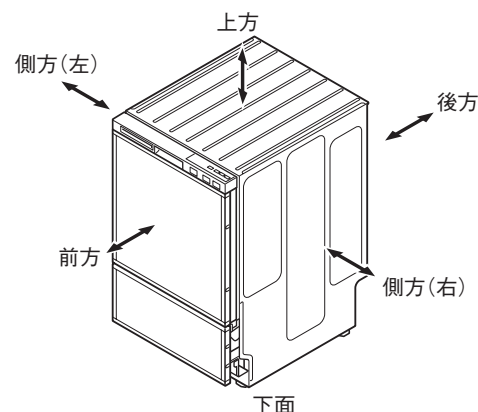
(図9)

※本体の金属部品が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレス天板と電氣的に接触しないようにしてください。法令（電気設備の技術基準の解釈）により義務づけられています。

- この食器洗い乾燥機は「消防法告示第一号（対象火気設備などおよび火気器具などの離隔距離に関する基準）」に適合しております。

建築物の可燃物などからの離隔距離は以下の表に掲げる値以上の距離を保ってください。

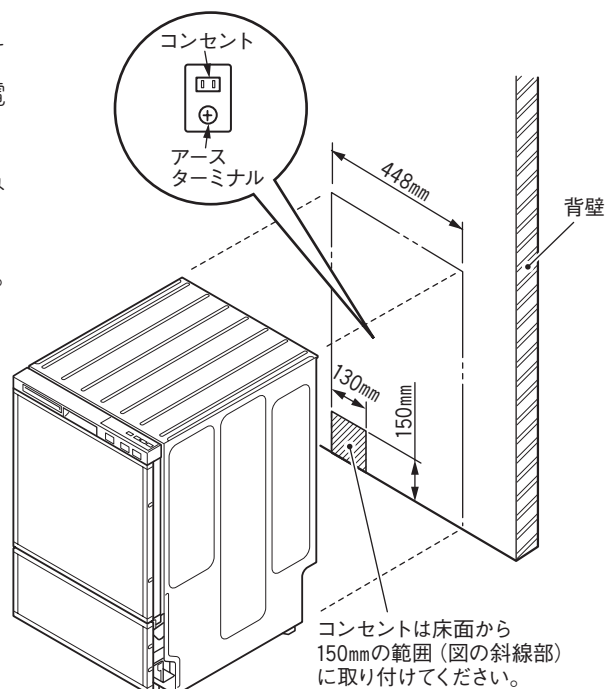
消防法 基準適合 組込形			
可燃物からの離隔距離 (cm)			
上方	側方	前方	後方
0	0	—	0



1 電源の確認

■工事はすべて電気設備技術基準に準じて行ってください

- 電源回路は100V、15Aの専用回路が必要です。
- 本体を設置する場所の背壁に、給・排水工事部分を避けた位置（図10）に埋め込みボックスを設け、これに電源電線、アース線を配線しておいてください。
（コンセントは125V、15Aのアースターミナル付埋め込みコンセントを設けてください。）
- 本体の電源（電圧、周波数）表示は銘板に示しています。（図70）



(図10)

⚠警告

■15Aのコンセントを単独で使用する

他の器具と併用したり、容量以下のものは、異常発熱して発火の原因になります。



⚠注意

■電源回路は専用回路として、漏電しゃ断器を設置する

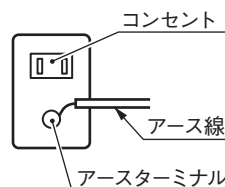
主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。



2 アースについて

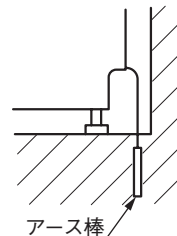
- 市販のアース棒を使用される場合、アース工事は必ずお買い上げの販売店か電気工事店にご依頼ください。
（電気工事士の有資格者がD種（第3種）接地工事をするよう法令で定められています。）
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。（法令などで禁止されています。）
- 設置場所の変更やご転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。
（アース工事は有料ですのでご了承ください。）

アースターミナル付
コンセントの場合



(図11)

アース棒を使用の場合



(図12)

⚠警告

■アースを確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

■アース線はガス管や水道管、電話や避雷針のアース線に接続しない

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アース確認

7 配管工事

1 配管工事

給湯・給水工事、排水工事例

■本機は配管直結タイプですので設計および施工工事の段階で給・排水の位置決めは正確に行ってください

- 温泉水や地下水や井戸水で使用すると、水質によっては機器内配管に異物が付着するなど、耐久性を損なうことがありますので、機器に接続しないでください。
- 給湯管は給湯用塩化ビニルライニング鋼管（相当品）を使用してください。
- 配管工事が図15～18の寸法になっているか確認してください。（必ず床上に、この寸法で配管してください。）
- 排水配管は呼び径以上のものを使用してください。かつ曲折部は90°ベンド、45°ベンドを使用してください。
- 給湯（給水）、排水配管の端面は、バリのないよう処理してください。かつ管内に残っている異物（切り粉など）を完全に取り除いてください。配管つまりによる故障や、水漏れの原因となります。
- 排水本管に至るまでの接続部品（図示していない）も耐熱塩ビを使い、配管用接着剤は耐熱用を使用してください。
- 本機が使用できる水道圧力は0.03～1 MPa（0.3～10.0kgf/cm²）の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので、高水圧地域（0.6MPa（6kgf/cm²）以上）では減圧弁を取り付けて0.2MPa（2kgf/cm²）程度に減圧してください。水圧が高すぎると水漏れの原因になります。

⚠注意

■高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付ける

水漏れの原因になります。

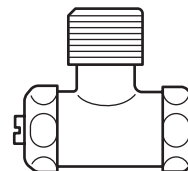


■70℃以上のお湯が供給される給湯（水）栓への配管には接続しない

故障の原因になります。

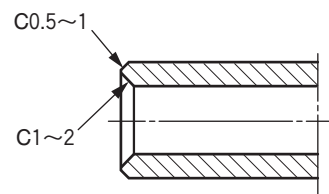


- ドライバー式アングル型止水栓を必ず取り付けてください。（止水栓は閉じた状態にしておいてください。）（図13）



（図13）

- 排水管 HT20の端面内周に、面取り（C1～2）を施してください。外径外面側は面取り（C0.5～1）をつけるとホースの挿入が容易になります。（図14）



（図14）

給湯器の確認

- 給湯接続の場合は10号以上のガス給湯器、石油給湯器、中型以上の深夜電力利用温水器などで70℃以下の温度に調整可能な機器に接続してください。

⚠注意

■元止め式ガス湯沸器、小型深夜電力利用温水器からの配管は絶対しない



■特に高水圧地域（0.6MPa（6kgf/cm²）以上）では給湯器に所定の減圧弁を必ず取り付けて0.2MPa（2kgf/cm²）程度に減圧する



1 配管工事

●本機は本体高さ寸法により給湯（給水）管（B 寸法）・排水管（A 寸法）の床面からの高さに対応可能な配管方法が変わります。下表を参照して高さを決定してください。

キッチン奥行寸法（L）	60~64cm	65~74cm	75cm以上
床立上げ配管	イ	ア・（イ）	ア・（イ）
壁出しの配管	ウ	ウ	ウ
床ころがしの配管	—	—	エ

パネル前面より排水管前端までの距離

・推奨：145~165mm

・接続ジョイント取付可能範囲：145~690mm

（単位：mm）

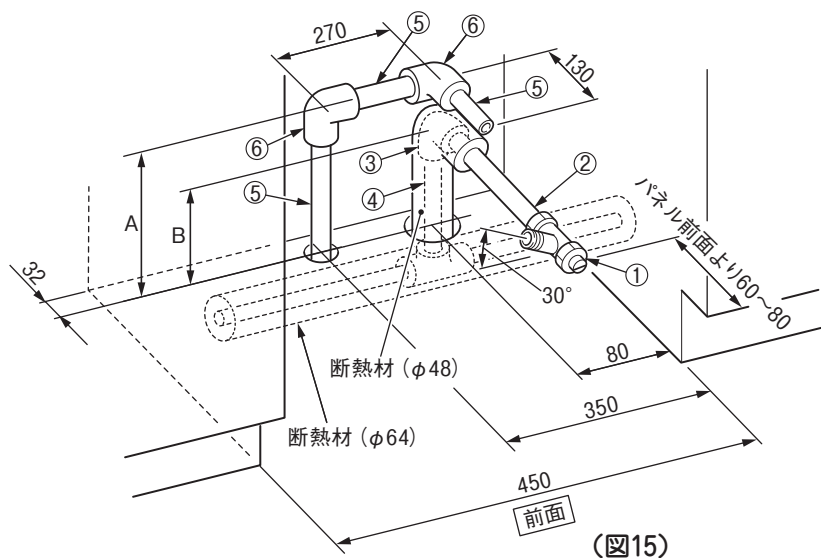
本体高さ		755	760	765	770	775	780	785	790	795	800	805	810	815	820	825	830	835	840	845	850	855
床立上げ配管、壁出しの配管	A 寸法	127	132	137	142	147	152	157	162	167	172	177	182	187	192	197	202	207	212	217	222	227
床ころがしの配管（図15~18）	B 寸法	80	85	90	95	100	105	110	115	120	125	130	135	140	145	150	155	160	165	170	175	180
奥行60cm 時の	C 寸法	87	87	87	92	97	102	107	112	117	122	127	132	137	142	147	152	157	162	167	172	177
床立上げ配管（図16）	D 寸法	50	50	50	50	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105	110	115	120	125	130

食器洗い乾燥機設置キャビネット内での配管例

●下記配管例以外の施工をする場合はお買い上げの販売店へご相談ください。

（単位：mm）

ア) 床立上げの配管例 キッチン奥行65cm 以上の場合



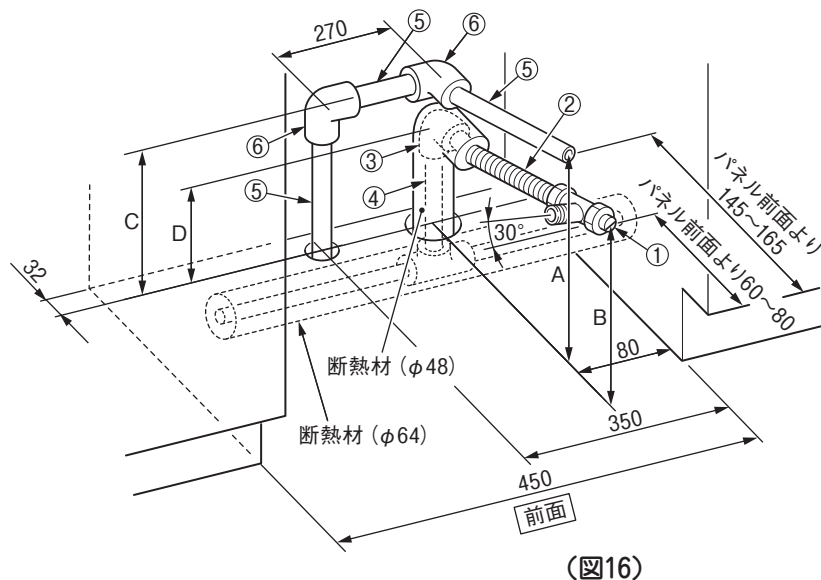
給水（給湯の場合は耐熱配管）

- ①ドライバー式アングル型止水栓
- ②硬質塩化ビニルライニング鋼管
- ③ Rc1/2エルボ
- ④硬質塩化ビニルライニング鋼管

排水（耐熱塩ビ使用のこと）

- ⑤ HT20
- ⑥ HT20エルボ

イ) 床立上げの配管例 キッチン奥行60~64cm の場合



給水（給湯の場合は耐熱配管）

- ①ドライバー式アングル型止水栓
- ②フレキシブル管（1/2）
- ③ Rc1/2エルボ
- ④硬質塩化ビニルライニング鋼管

排水（耐熱塩ビ使用のこと）

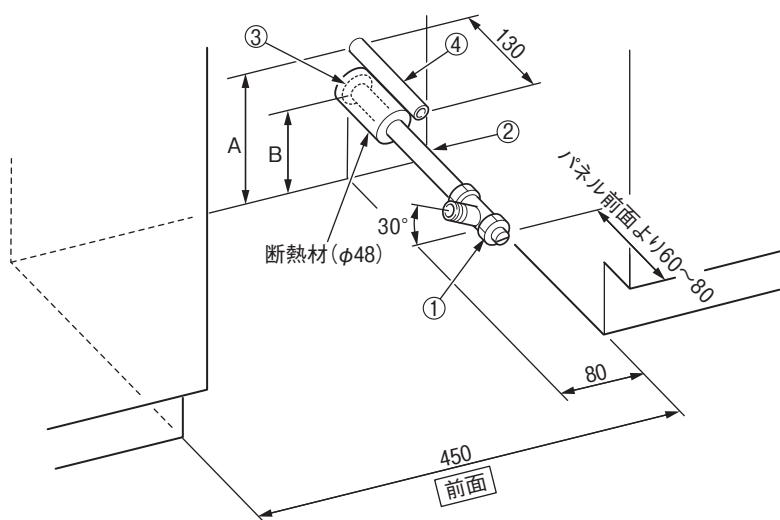
- ⑤ HT20
- ⑥ HT20エルボ

●本体高さ755~765mm の場合は、排水管との接触部の断熱材が5 mm 程度へこみます。

●キッチン奥行65cm 以上の場合でもこの配管は可能です。

ウ) 壁出しの配管例

(単位: mm)



(圖17)

給水（給湯の場合は耐熱配管）

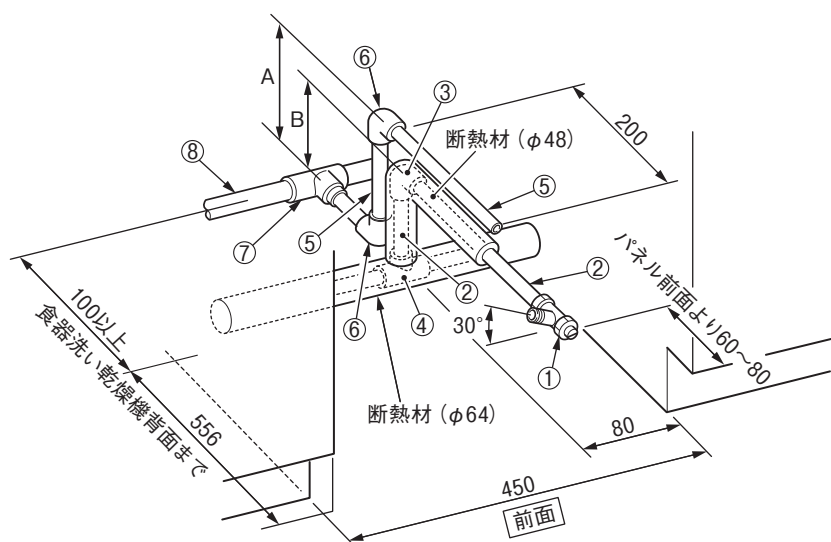
- ①ドライバー式アングル型止水栓
②硬質塩化ビニルライニング鋼管
③ Rc1/2ソケット

排水（耐熱塩ビ使用のこと）

- ④ HT20

エ) 床ころがしの配管例 キッチン奥行75cm の場合

※キッチン奥行L=750mm または水切りによって壁面と食器洗い乾燥機背面との距離に余裕がある場合のみ可能です。



(圖18)

給水（給湯の場合は耐熱配管）

- ①ドライバー式アングル型止水栓
- ②硬質塩化ビニルライニング鋼管
- ③ Rc1/2エルボ
- ④チーズ

排水（耐熱塩ビ使用のこと）

- ⑤ HT20
- ⑥ HT20エルボ
- ⑦ HT40×20チーズ
- ⑧ VP40

- 本機が使用できる水道圧力は0.03～1MPa（0.3～10.0kgf/cm²）の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので、高水圧地域（0.6MPa（6kgf/cm²）以上）では減圧弁を取り付けて0.2MPa（2kgf/cm²）程度に減圧してください。水圧が高すぎると水漏れの原因になります。

⚠ 注意

■高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付ける

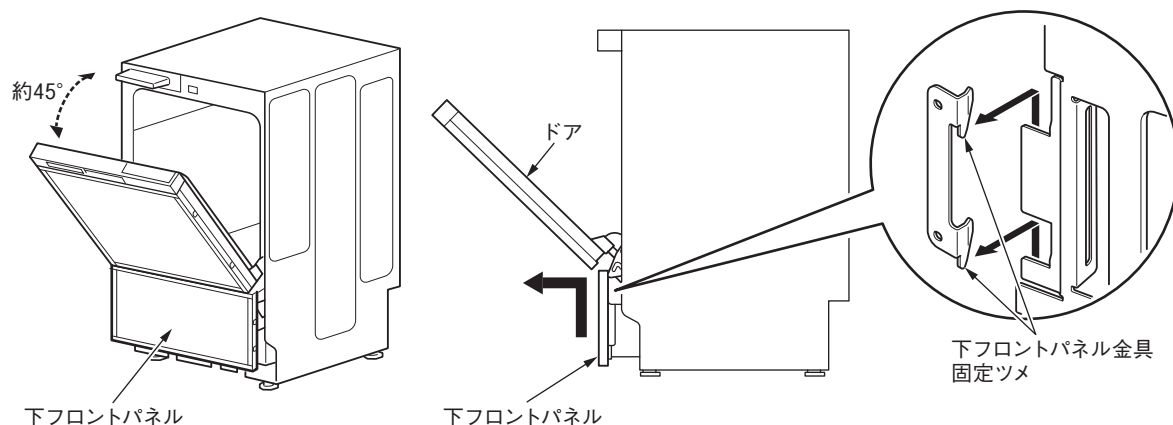
水漏れの原因になります。



8 設置

1 上下フロントパネルの取りはずし

- ドアを約45° 開き保持したまま、ドア下部にある下フロントパネルを約10mm ほど上方にスライドさせて裏側のツメをはずし手前に引き、取りはずします。(図19)



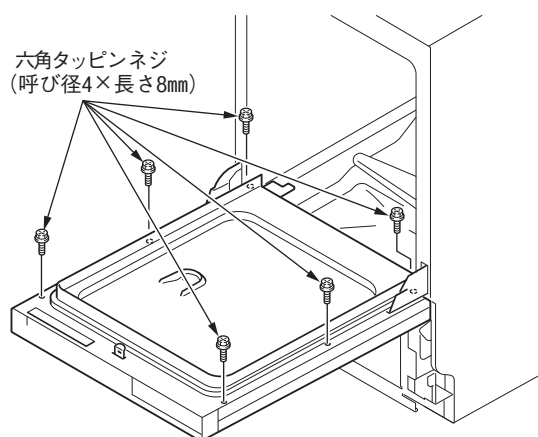
(図19)

- 上フロントパネルの化粧パネルを交換する場合は、下記の手順で上フロントパネルを取りはずしてください。

- ① 上部ドアを開いて、上部ドア裏面の六角タッピンネジ（呼び径4×長さ8mm）（6本）を取りはずします。

(図20)

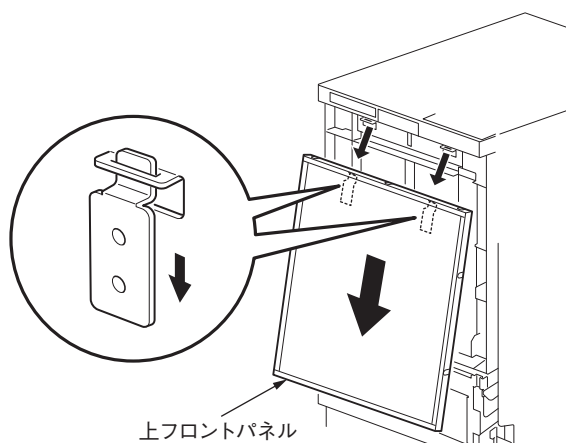
※六角タッピンネジを取りはずすときに上フロントパネルを保持していないと、上フロントパネルが落下しますので注意してください。



(図20)

- ② 上フロントパネルを保持しながらドアを閉めて、上フロントパネルを下方にスライドさせ、取りはずします。

(図21)



(図21)

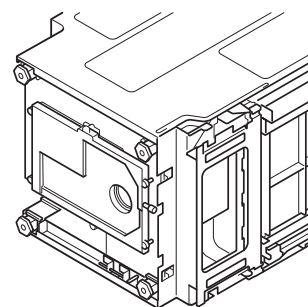
2 本体の高さ調節

●本機は本体の高さを調節します。

下記の表 1 を参照して高さを調整してください。

- ①庫内の付属品および食器かご（下）、残菜フィルターなどを取り出してください。
- ②本体の側面を下にして底面を手前にしてください。（図22）
- ③本体の高さを調整してください。

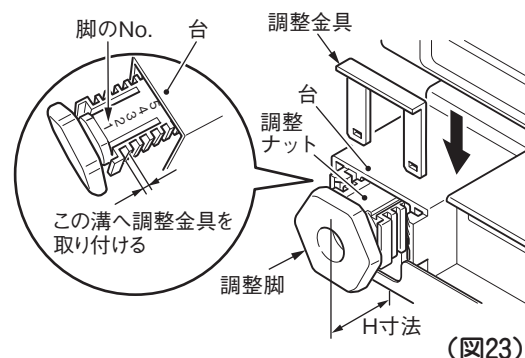
※本機は 4 カ所の調整ナットにワンタッチで高さ調整ができる調整金具が付いています。



（図22）

本体高さ755mm～810mm の場合

●調整金具を抜き、表 1 の調整ナットの No. の位置に高さを合わせ、調整金具を差し込んでください。（図23）



（図23）

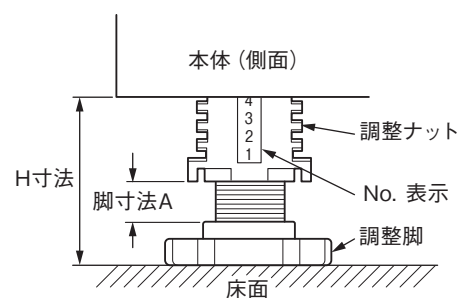
本体高さ815mm～855mm の場合

●調整金具を抜き、調整ナットの No. が13の位置に高さを合わせ、調整金具を差し込んでください。（図23、24）
次に調整脚を回転させ、表 1 の脚寸法分を引き上げてください。（図24）

※H寸法はけこみ寸法ではなく、床面から本体側面下までの寸法です。

※調整金具の着脱は⊖ドライバーやプライヤーを使用すると容易に作業できます。

※調節脚の高さが 4 本とも同じになっていることを必ず確認してください。



（図24）

⚠注意

■調節脚の高さを調整し、本体を水平にする

ドアが左右に片寄り、ドアの干渉、開閉時の異音、水漏れの原因になることがあります。



■床の不陸などにより左右キャビネットにスペーサーなどで調整している場合は、その分本体を高くしてください

左右扉との上下位置が合わなくなります。

（単位：mm）

本体高さ	755	760	765	770	775	780	785	790	795	800	805
調整ナット No.	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
脚寸法 A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H寸法	13.5	18.5	23.5	28.5	33.5	38.5	43.5	48.5	53.5	58.5	63.5
本体高さ	810	815	820	825	830	835	840	845	850	855	
調整ナット No.	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	
脚寸法 A	—	5	10	15	20	25	30	35	40	45	
H寸法	68.5	73.5	78.5	83.5	88.5	93.5	98.5	103.5	108.5	113.5	

（表 1）

④調節が終了したら本体を元に戻し、食器かご（下）、残菜フィルターなどを取り付けてください。

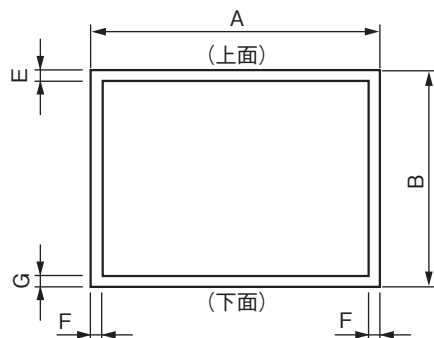
3 化粧パネルの交換（別売部品）

この機器は化粧パネルが付いています。

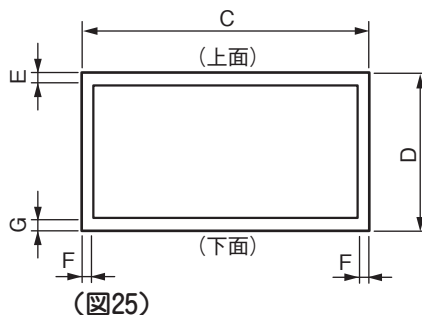
●化粧パネルを交換する場合は、下記の手順で交換してください。

※化粧パネルの厚みは2～4.5mmを使用してください。

ドア用化粧パネル寸法図



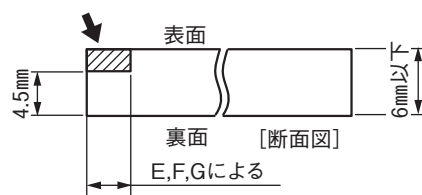
下部化粧パネル寸法図



(単位：mm)

A	436±1
B	445±1
C	436±1
D	186±1
E	6.5
F	7.5
G	8.5

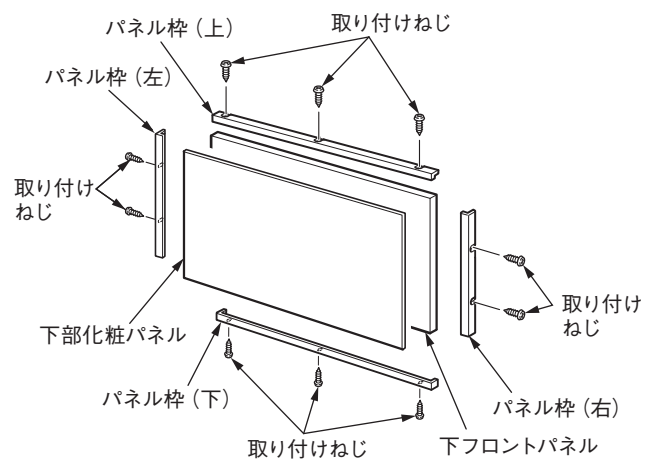
※厚さ4.5mm以上6mmまでのパネルをご使用になる場合は、外周（斜線で指定した部分）の表面を、厚さ4.5mm以下になるようにけがき線を入れ、斜線部を削り取ってください。（図26）



(図26)

下部化粧パネルの取り付け方

- ①下フロントパネルのパネル枠取り付けねじ10本をはずし、パネル枠を取りはずしてください。
- ②取り付けてある化粧パネルをはずします。
- ③下部化粧パネルを下フロントパネルに重ねて、パネル枠を取り付けねじ10本で固定してください。（図27）



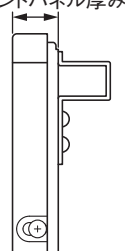
(図27)

ドア用化粧パネルの取り付け方

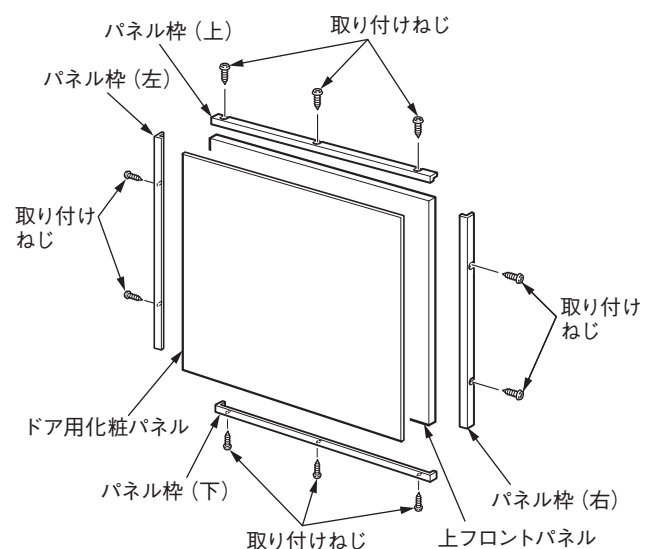
- ①上フロントパネルのパネル枠取り付けねじ10本をはずし、パネル枠を取りはずしてください。
- ②取り付けてある化粧パネルをはずします。
- ③ドア用化粧パネルを上フロントパネルに重ねて、パネル枠を取り付けねじ10本で固定してください。（図28-1）

- ④上フロントパネル厚みを確認します。上フロントパネル厚み（図28-2）

※出荷時は化粧パネル約4mm（上フロントパネル厚み18mm）です。



(図28-2)



(図28-1)

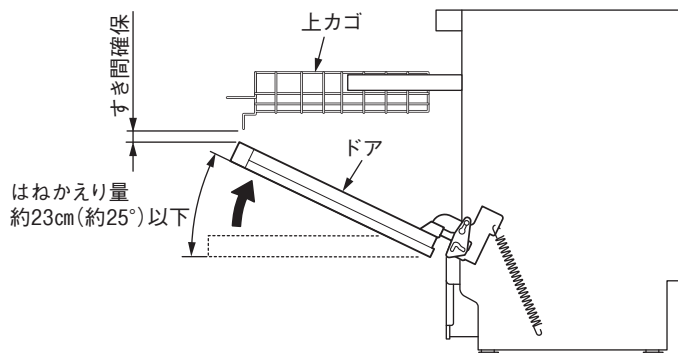
4 上フロントパネルの取り付けとドアはねかえりの調整

①ドアのはねかえり量を確認します。

●化粧パネルを交換した場合は、上フロントパネルを取り付けます。

●上フロントパネルの重さによって、ドアの全開位置から手を離れたときのはねかえり量が異なります。約23cm（約25°）以下で止まることを確認してください。また、ドアが開いたときに衝撃がないことを確認してください。

目安は、上カゴを引き出したときに上カゴとドアがぶつからない程度です。（図29）

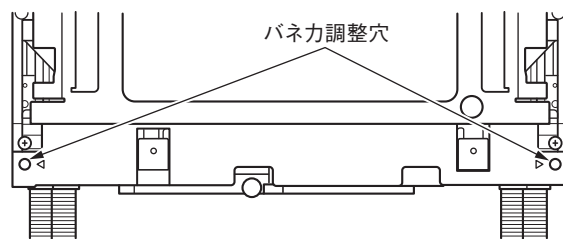


（図29）

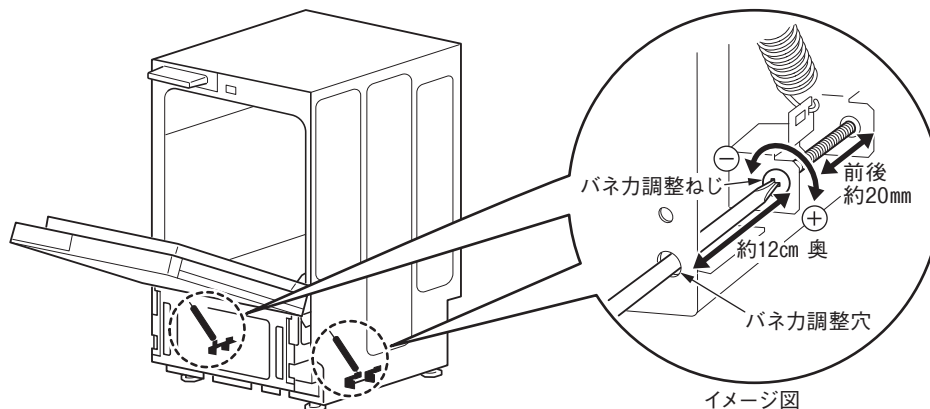
②ドアの「はねかえり量が小さい」「衝撃が強い」「はねかえり量大きい」場合などはバネ力で調整してください。

●機器の下部左右2カ所にバネ力調整穴があります。約12cm奥に調整用ねじがあり、軸長13cm以上のドライバーを使って調整します。（図30）

●バネ力調整ねじを時計回りに回すとはねかえり量が大きくなり、反時計回りに回すとはねかえり量が小さくなります。前後約20mmの間でバネ力を調整できます。（図31）



（図30）



（図31）

⚠注意

■電動ドライバーは使用しないで手締めする

ねじ山がつぶれて締まらなくなるおそれがあります。



①型紙をキャビネットに合わせます。(図32)

左右方向

●型紙の中心線をキャビネットの中心に合わせます。

※キャビネット側板と型紙端面のすき間が左右同じになるように合わせてください。

前後方向

●直角定規（金尺・三角定規など）をキャビネット前面に当て、型紙の前端を直角定規に合わせます。

●化粧パネルを交換した場合は厚みを確認します。（13ページの図28-2参照）

化粧パネルの厚みによってフロントパネルの厚みが変わるので、型紙を合わせる位置が異なります。

・化粧パネル厚み約 4 mm（フロントパネル厚み18mm）：型紙の前端に合わせる

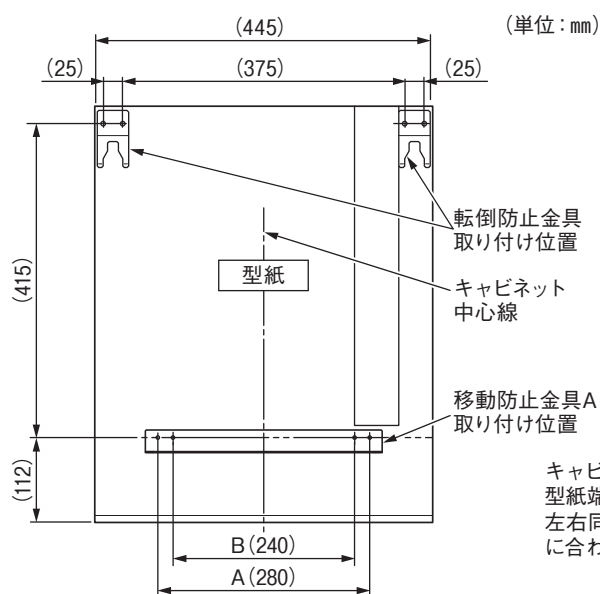
化粧パネル厚み 2～3 mm（フロントパネル厚み16～17mm）の場合は、型紙の前端より内側に入っている線をそれぞれ直角定規に合わせます。

・化粧パネル厚み約 2 mm（フロントパネル厚み16mm）：型紙の前端より 2 mm 内側にある線

・化粧パネル厚み約 3 mm（フロントパネル厚み17mm）：型紙の前端より 1 mm 内側にある線

②型紙をテープで固定します。

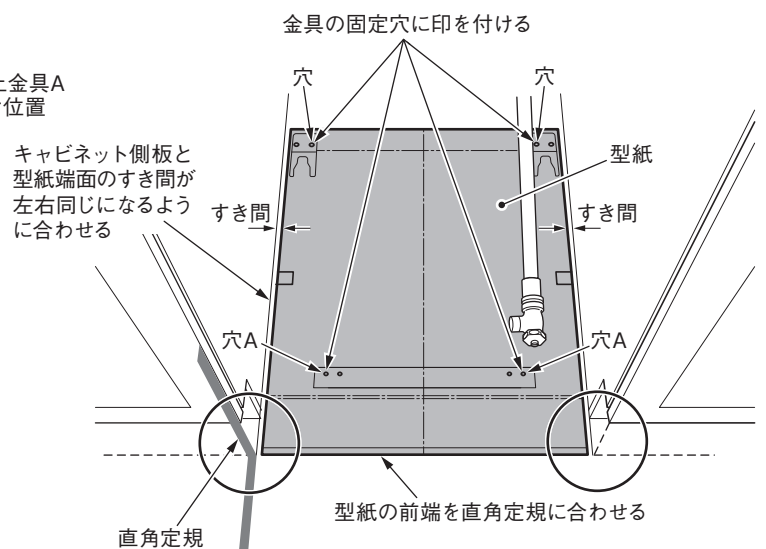
※型紙は給・排水管に当たる箇所を切り欠いてください。



⚠注意

■位置決めは正確に行う

直角定規（金尺・三角定規など）で正確に型紙を当てて位置決めしないと、転倒防止の機能が果たされません。



(図32)

③型紙の転倒防止金具の穴位置（2カ所×2）に目印をキリやポンチで付けてください。

④型紙の移動防止金具の穴位置A（2カ所）に目印をキリやポンチで付けてください。

※穴位置Aで取り付けできない場合は、穴位置Bを使ってください。

⑤型紙をはずしてください。

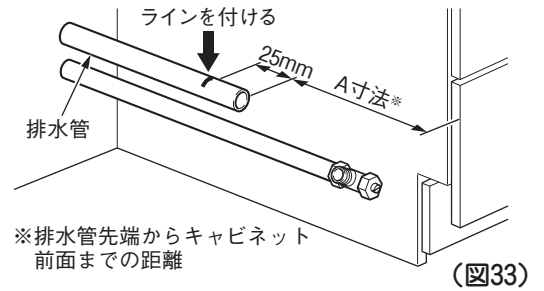
⑥転倒防止金具を両面テープなどで仮固定し、本体をビルトインし、上扉と隣接キャビネットの扉の前後位置が合うことを確認してください。

合わない場合は、転倒防止金具および移動防止金具の前後位置を調整してください。

6 接続ジョイントの切断

■給・排水接続工事と接続ジョイントの接続は、設備業者様にて実施をお願い致します

- ①排水管（HT20）の先端から25mm のところに目印のラインを付けます。
- ②排水管（HT20）先端からキャビネット前面までの距離 A 寸法を測定してください。（図33）



（図33）

- ③接続ジョイントホースを下記のいずれかの方法で切断してください。ホースバンド大ははずさずにずらしてください。

ア) 以下の計算式で算出した寸法で切断してください。

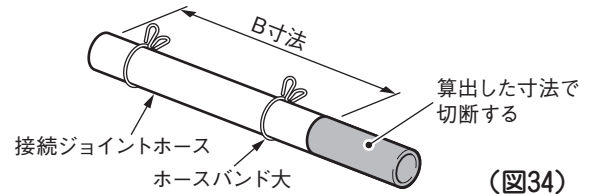
（図34）

ホース全長 **B 寸法** = **(A 寸法 + 25) - 120** (mm)

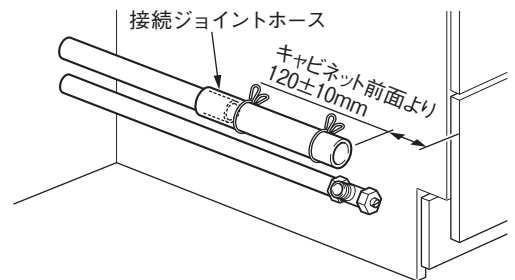
※120mm：接続ジョイントホースを接続したときの
キャビネット前面よりホースの先端位置

25mm：①で付けた目印（ホースを差し込む寸法）

イ) 接続ジョイントホースを排水管に25mm 差し込んだ状態で、キャビネット前面よりホースの先端が120±10mm になる位置で切断してください。（図35）



（図34）

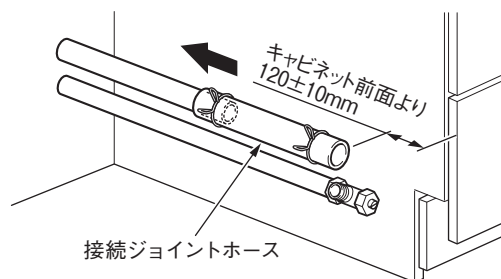


（図35）

7 ソケットの取り付け

- ①排水管（HT20）に接続ジョイントホースを25mm ラインまで挿し込み、ホースバンド大をつまみが左側になるようにずらして固定してください。（図36）

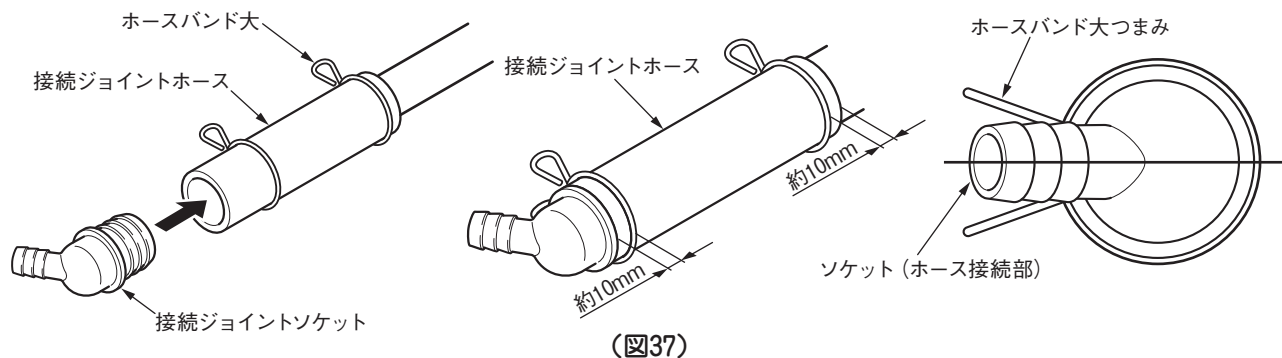
接続ジョイントホースの前端が、キャビネット前面から120±10mm の位置に合っているか確認してください。



（図36）

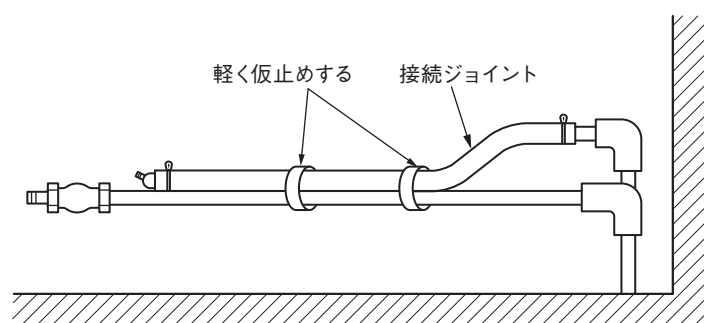
- ②接続ジョイントホースに接続ジョイントソケットを挿し込み、ホース接続部の向きが正面から見て左側を向いて水平になるようずらして調整してください。（図37）

- ③ホースバンド大のつまみの向きを2個とも左側にして固定してください。（図37）



（図37）

- ④ビルトイン作業時に接続ジョイントを機器に通しやすくするため、接続ジョイントを給湯（給水）管にテープで仮止めしてください。（図38）



（図38）

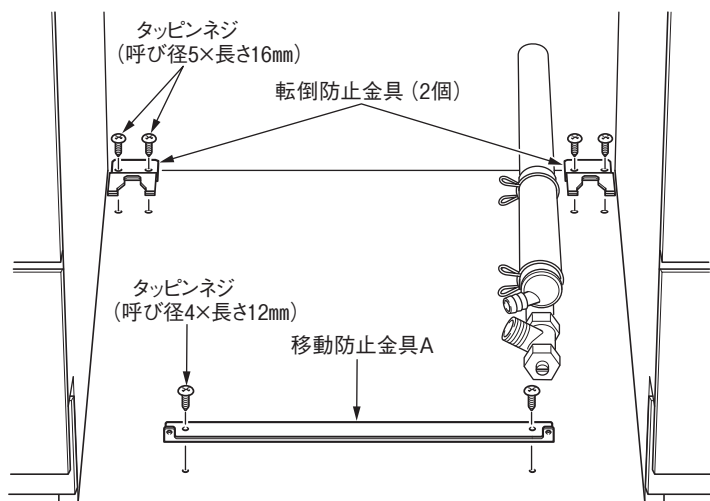
8 金具の取り付け

①型紙を使って付けた目印の位置に、転倒防止金具（2個）と移動防止金具 A を取り付けてください。（図39）

●転倒防止金具は 4 本のタッピンネジ（呼び径 5 × 長さ 16mm）で固定してください。（図40）

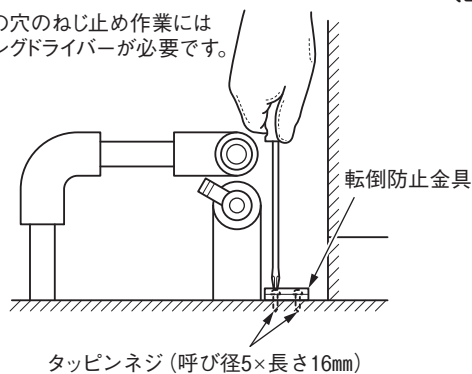
※排水管があるので、ドライバーの軸の長さは約 30cm のものを使ってください。

●移動防止金具 A は 2 本のタッピンネジ（呼び径 4 × 長さ 12mm）で固定してください。



（図39）

※この穴のねじ止め作業には
ロングドライバーが必要です。



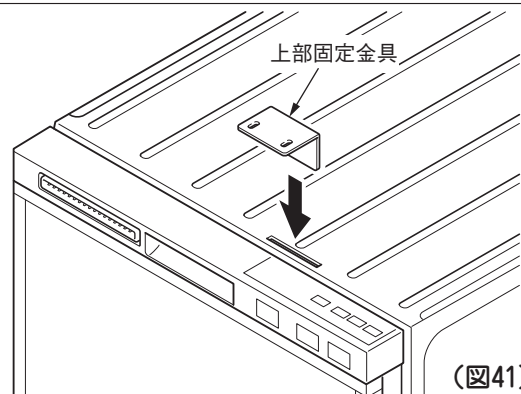
（図40）

9 上部固定金具の差し込み

※上部固定金具を使用しなくても問題ありませんが、上部固定金具は機器の固定をさらに安定させる部材であり、カウンターの材質により木片を使用するなど、必要に応じて取り付けてください。

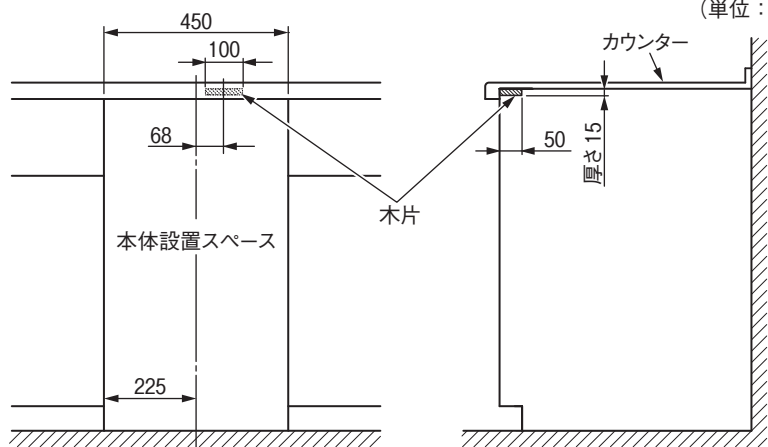
●上部固定金具を機器上面の四角穴に差し込みます。（穴の開いた面を前側にします。）（図41、42）

※上部固定金具を使用しない場合は破棄してください。



（図41）

（単位：mm）



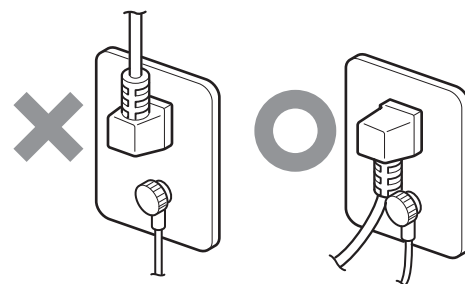
（図42）

- ①電圧が100Vであることを確認してから埋め込みコンセントに電源プラグを差し込んでください。
- ②アース線をアースターミナルに接続してください。

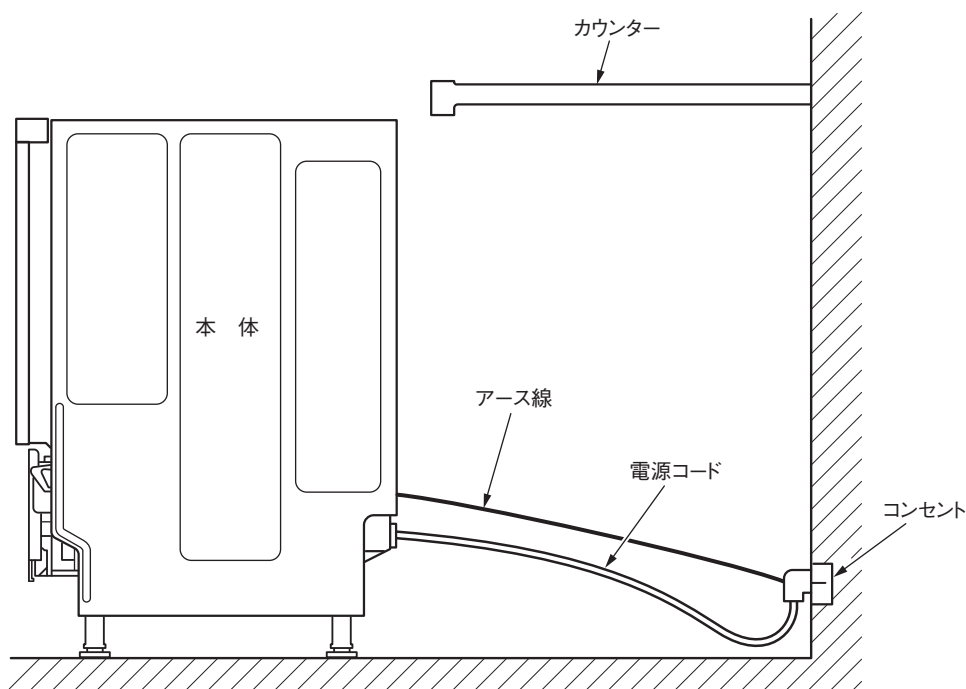
⚠注意

■電源プラグはコードが下方向に出るようコンセントに差し込む

コードが上方向に出ますと、機器をビルトインしたとき、コードが傷つくことがあります。



(図43)



(図44)

⚠警告

■電源プラグは刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく
火災の原因になります。



⚠注意

■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電やショートして発火することがあります。



■電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



■電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



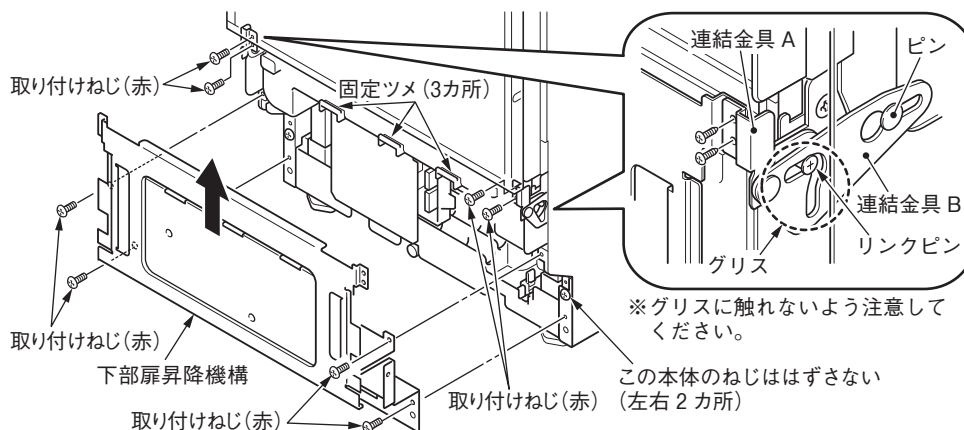
11 下部扉昇降機構の取りはずし

- ①設置に必要な部品を水槽内から取り出してください。
- ②下部扉昇降機構の取り付けねじ（赤色 8 本）をはずし、下部扉昇降機構を上側にスライドさせ固定ツメ 3 カ所をはずしてください。（図45）

⚠注意

■下部扉昇降機構をはずしたときは、本体を倒したり、ドアを45°以上開けない

連結金具 A やリンクピンを破損するおそれがあります。また、連結金具 B がピンよりはずれることがあります。（連結金具 A ・ B については、23 ページの図59参照）



（図45）

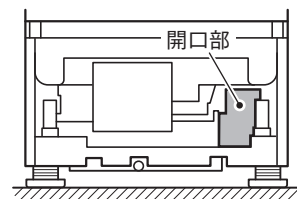
12 本体のビルトイン

本体のビルトイン

- ①隣接する機器などに注意し、給湯（給水）管、排水ホースの先を開口部から挿入するようにして、本体の下方をゆっくりと押し込んでください。

お願い

- 床面の凹凸で調整脚のすべりが悪くスムーズに挿入できないときは、無理やり押さないでください。
- ※脚が変形するおそれがあります。床面を養生するなど、配慮してください。



（図46）

⚠注意

■給・排水ホースを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟み込んだり、加工したりしない

給・排水不良の原因になります。



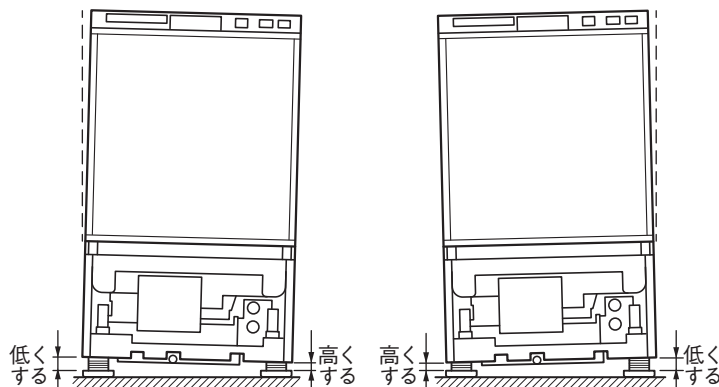
- ②本体をビルトインした状態で、ドアの左右の片寄りを確認してください。
- ドアの片寄りがある場合、ドアの干渉、開閉時の異音、水漏れの原因になることがあるため、調節脚を調節してください。

ドアの片寄りの調整

- 片寄りの方向によって前側の脚高さを調節します。本体の前面を少し持ち上げ、脚の下部を回して調節してください。（図47）

右側へ片寄っている場合

左側へ片寄っている場合



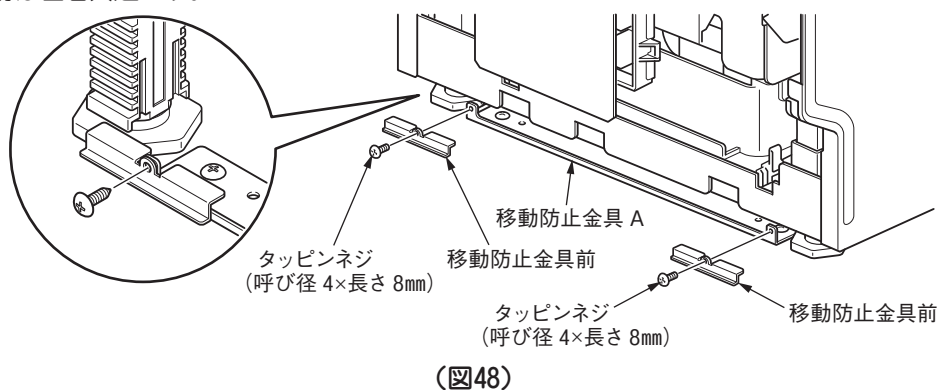
※床面を傷つけないよう注意してください。

- 前後の傾き、上下位置の微調整も前側の脚高さにて調節してください。

（図47）

13 移動防止金具の取り付け

- 移動防止金具前をタッピンネジ（呼び径 4 × 長さ 8 mm）で移動防止金具 A に固定してください。
- ※移動防止金具前は左右共通です。



※図48は見やすくするため、水槽など一部の部品を省略しています。

14 給水（給湯）管との接続

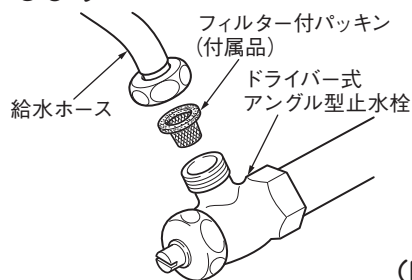
■給・排水接続工事については、設備業者様にて実施をお願いします

- ①給水ホース（本体）をドライバー式アングル型止水栓に確実に接続してください。（図49）
（フィルター付パッキンの向きに注意）

※必要以上に強く締め付けますと、パッキンが破れますので注意してください。

お願い

- ナットは手で軽く締め込んだ後、約半回転ぐらい締め付けてください。
- ※適正な締め付けトルクは 5 ～ 10 N · m (50 ～ 100 kgf · cm) です。



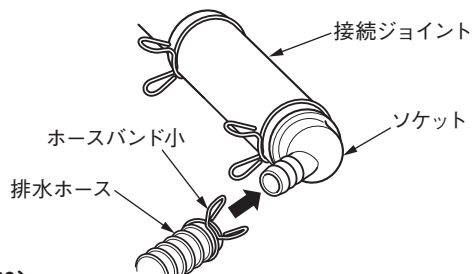
⚠注意

■フィルター付パッキンは必ず所定の位置に取り付ける



15 排水ホースとの接続

- 接続ジョイントソケットと排水ホースを接続します。排水ホースは、ソケットに奥まで差し込みます。（図50）
- ホースバンド小は排水ホース端から約10mm までずらして取り付けます。
- この時、排水ホースは給湯（給水）管や、給水ホースの上を通るように配管してください。（図51）

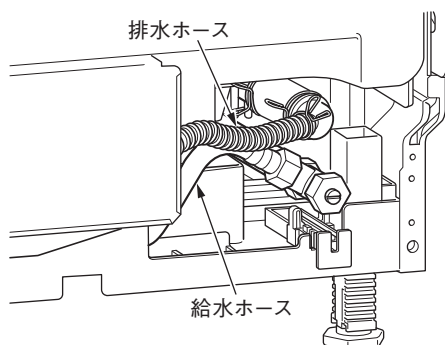
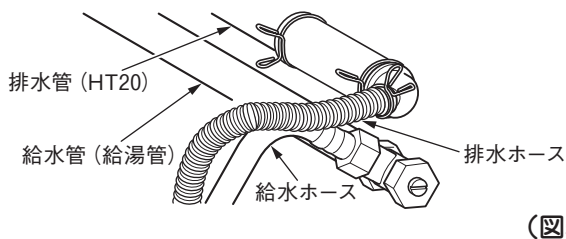


配管の収まり図

- 給水ホースと排水ホースが台本体の前面より前に出て下フロントパネル部品に接触しないように配管してください。（図52）
- 排水ホースと給水ホースが極端に折れ曲がっていないか確認してください。

⚠注意

■排水ホースを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟み込んだり、加工したりしない
水漏れの原因になります。



9 試 運 転

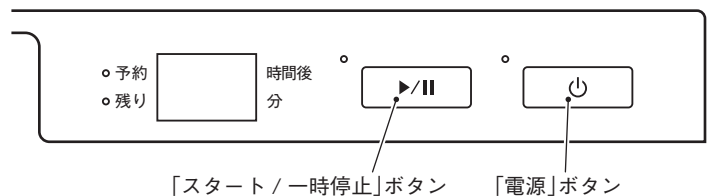
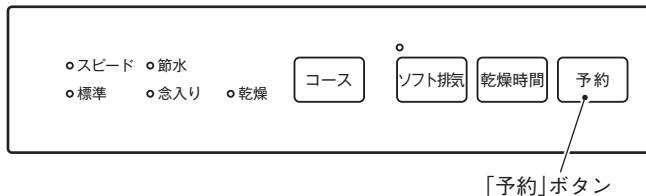
※試運転の前に必ず他の水栓より数リットルの水を流して、配管内のさびなどを流してください。

■試運転を行ってください。なお、次の手順で試運転を行うと短時間で行うことができます

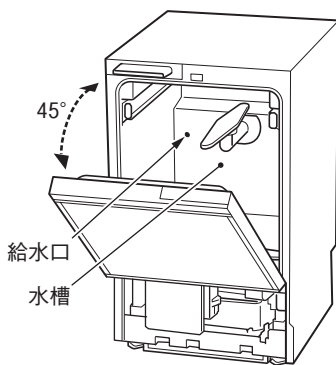
- ①止水栓を開きます。
- ②ドアを開いて食器かご、小物入れを水槽内から取り出します。
※試運転の時に配管内のさびが食器かごに付着するおそれがあるためです。
 回転ノズルや残菜フィルターの輸送用固定テープ、梱包部材を取り除きます。
- ③「電源」ボタンを押して電源を「入」にしてから「切」にします。(リセットします。)
- ④「予約」ボタンを押しながら、「電源」ボタンを押します。(このときブザーが「ピピッ」と鳴ります。また、7セグに「SU」が点滅して表示されます。)
- ⑤ドアを閉じます。
- ⑥「スタート／一時停止」ボタンを押してください。(「試運転」コースが開始し、「SU」表示が点灯に変わります。約10分間で終了します。)

〈上面操作部〉

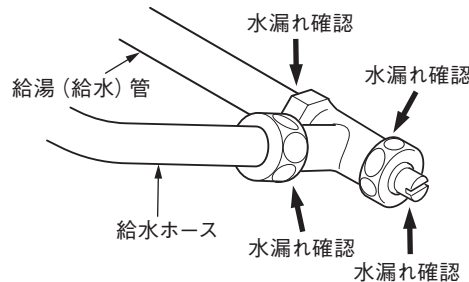
〈前面操作部〉



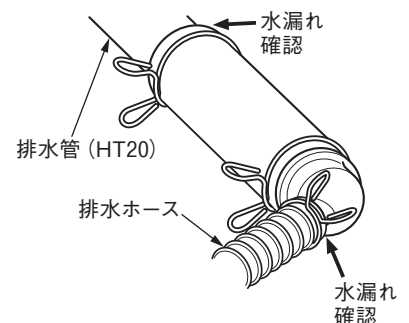
- ⑦次の確認を行ってください。
- 一定量の水が入ればシャワーを噴射しながら水槽内のノズルが回転します。ノズルが回転しているか確認してください。(噴射音：バシャバシャ音が聞こえるか確認してください。)
- ※試運転は、運転が終了するまで確実に行ってください。途中で停止させないでください。**
- ※試運転が15分以上かかる場合は、フィルター付パッキンに異物が付着している可能性があります。フィルター付パッキンをはずして掃除してください。**
- ※運転中に28ページの異常報知が表示された場合は、表示内容に対応した処置を行ってください。**



(図53)



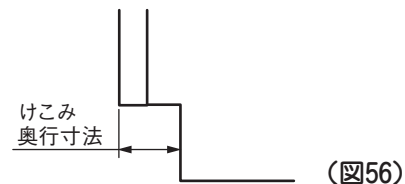
(図54)



(図55)

- 運転が終了するとブザーが鳴り、電源が「切」になりますので、運転終了を確認後、ドアを45°まで開けてください。(水槽内の水が排水されていることを確認してください。また運転中、給・排水接続部からの水漏れがないことを充分確認してください。)
- 電源が「切」の状態、ドアを45°まで開き、水槽内の給水口から水が出ていないことを確認してください。
- ⑧食器かご、小物入れを元どおりセットしてください。
- ⑨試運転終了後、止水栓を開いたままにしておいてください。また、長期間使用しない場合は、万が一の水漏れを防止するため、家屋の元水栓を閉めてください。

①キッチンのけこみの奥行き寸法を測定します。(図56)



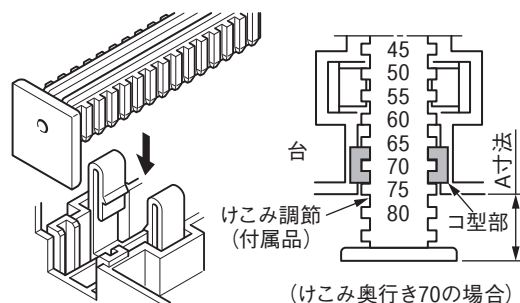
②キッチンのけこみの奥行き寸法 (mm) に近いけこみ調節に刻印されている数字を台のコ型部に合わせ、けこみ調節を台に差し込みます。(図57)

●けこみの奥行き寸法の調節範囲は35～80mm です。

けこみ調節の左右の出寸法 (A 寸法) を確認してください。

(単位: mm)

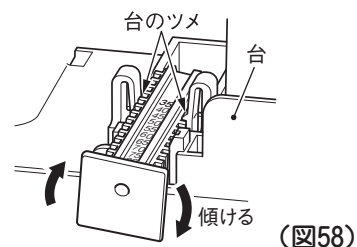
キッチンけこみ奥行き寸法	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80
けこみ調節出寸法 A	49	44	39	34	29	24	19	14	9	4



(図57)

●けこみ調節を取りはずす際は、けこみ調節を片側に少し傾け、台のツメを片側ずつはずしながら取りはずしてください。(図58)

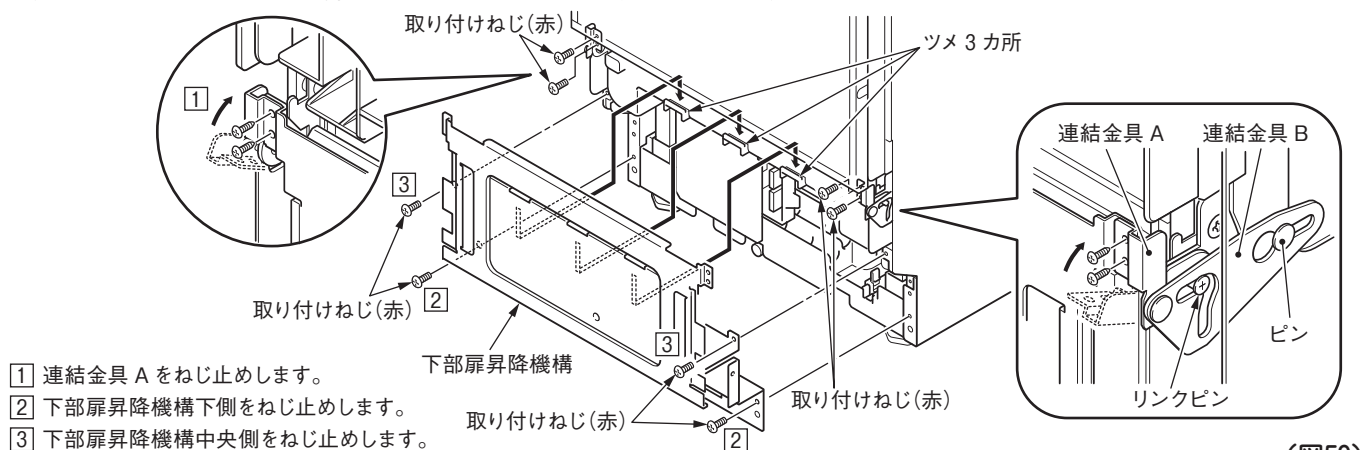
※真上に引っ張り、左右の台のツメを同時にはずそうとしますと、台のツメが破損するおそれがあります。



(図58)

③図45ではずした下部扉昇降機構の穴に水槽下のツメ 3 カ所を挿入し、下部扉昇降機構を上側にスライドして、取り付けねじ (赤色 8 本) で固定してください。(図59)

※連結金具 B にはグリスを塗付しています。グリスに触れないよう注意してください。



(図59)

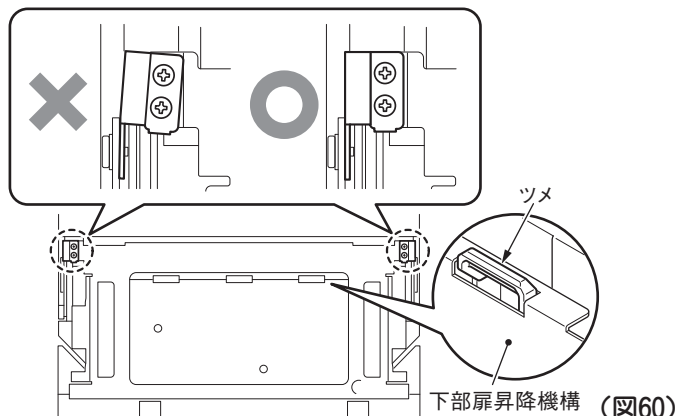
⚠注意

■連結金具 A はまっすぐに取り付ける

連結金具 A の下方が開かないようにねじ止めしてください。

■連結金具 B がピンからはずれていないことを確認する

■水槽下ツメが下部扉昇降機構の穴に挿入されていることを確認する

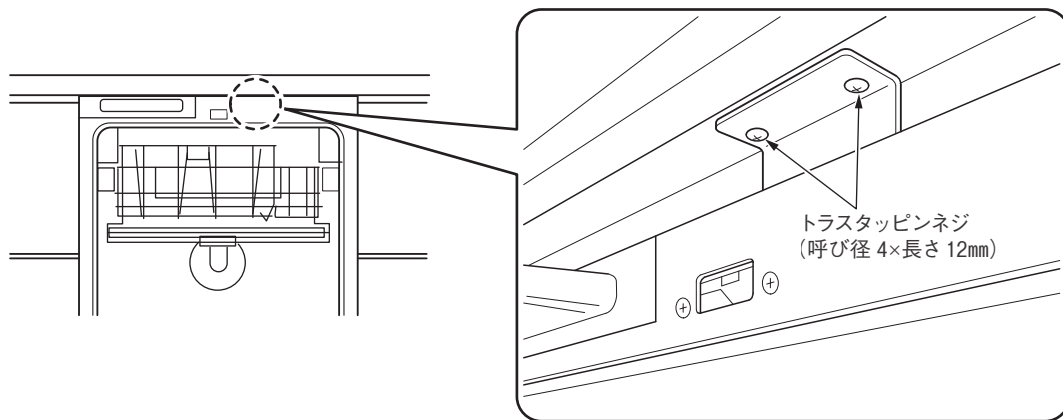


(図60)

11 上部固定金具の取り付け

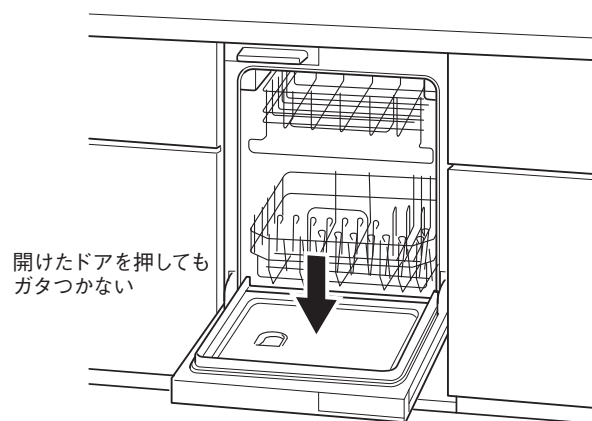
※18ページの「上部固定金具の差し込み」で上部固定金具を使用する場合は、下記の「上部固定金具の取り付け」を行ってください。

- ①ドアを開け、上部固定金具を付属のトラスタッピンネジ（呼び径4×長さ12mm）でカウンター裏に取り付けます。（図61）



（図61）

- ②開けたドアを軽く手で押してもガタつかないこと、およびドアが閉まること（ロックがかかること）を確認してください。（図62）



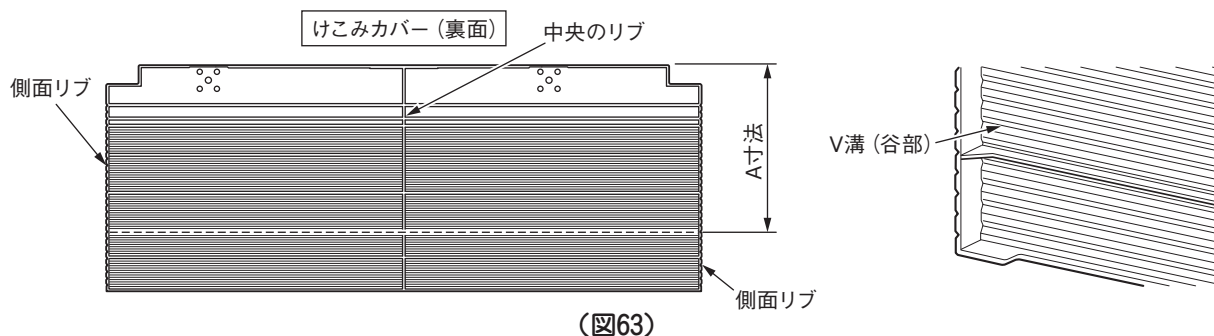
（図62）

①けこみカバーをカウンター高さに合わせて切断します。

- カウンター高さに合わせて、けこみカバーの長さを以下の寸法に切断します。
- V溝（谷部）が下記寸法になるように、印を付けます。溝は5mmピッチです。
A寸法＝本体高さ－705mm

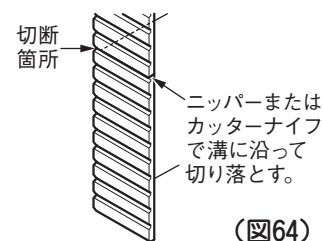
(単位：mm)

本体高さ	855	850	845	840	835	830	825	820	815	810	805	800	795	790	785	780	775	770	765	760	755
けこみカバー高さ A	150	145	140	135	130	125	120	115	110	105	100	95	90	85	80	75	70	65	60	55	50

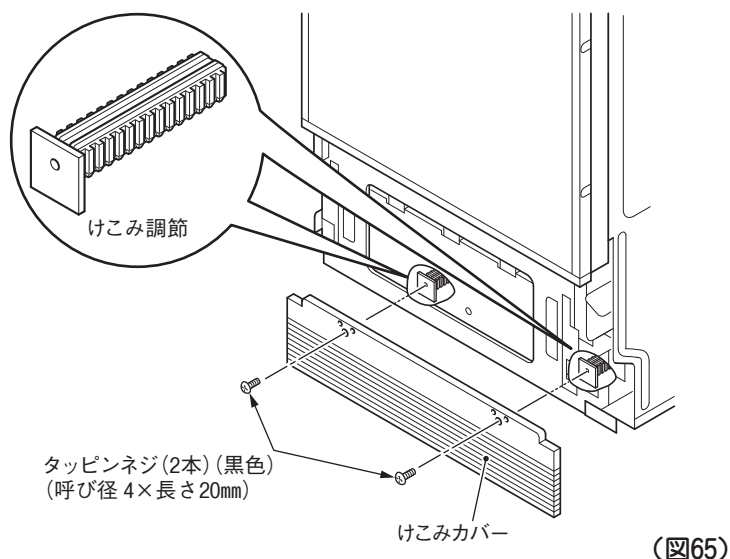


- 裏面の左右側面と中央のリブを、ニッパーまたは カッターナイフで切ります。
(図64)

- V溝（谷部）にカッターナイフの刃先を押し当て、数回引き切断してください。



②けこみカバーを2本のタッピンネジ（呼び径4×長さ20mm（黒色））でけこみ調節に固定します。(図65)



⚠注意

■電動ドライバーは使用しないで手締めする

ねじ山がつぶれて締まらなくなるおそれがあります。



■カッターナイフなどでの切断作業時には、必ず手袋を着用する

けがをしないよう十分注意して行ってください。また、切断部分をやすりなどで仕上げ、けがの原因になるエッジなどを取り除いてください。



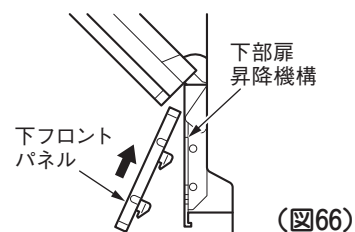
2 下フロントパネルの取り付け

① ドアを約45°開いてください。

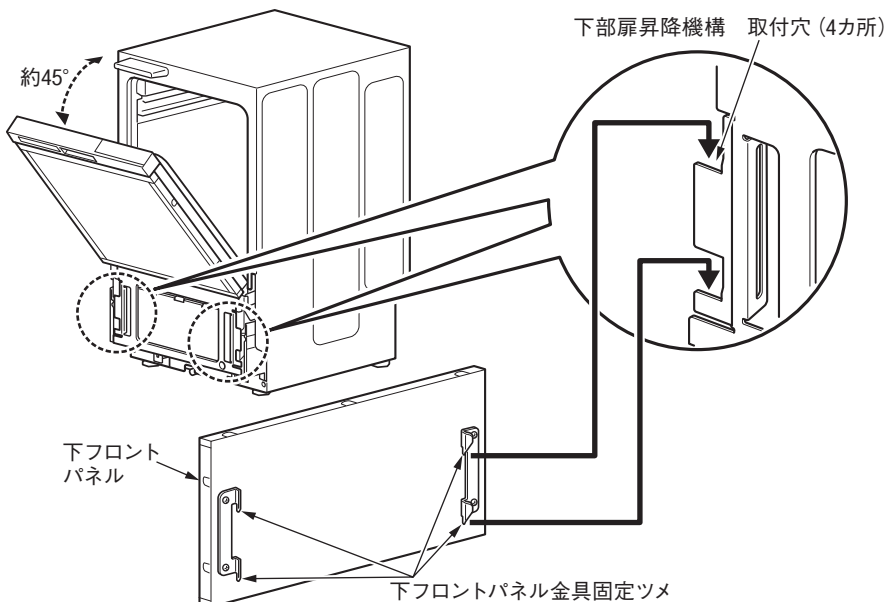
② ドアを約45°開いた状態で、ドア下部にある下部扉昇降機構の取付穴（4カ所）に下フロントパネルの取付金具のツメを挿入します。（図67）

※開いたドア下部のすき間に、下フロントパネルをすべり込ませるように上方にスライドさせて取り付けます。（図66）

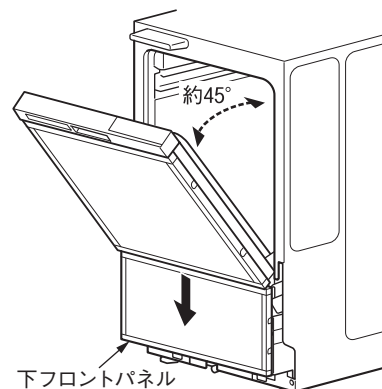
そのまま下方にスライドさせ、取り付けてください。（図68）



（図66）



（図67）



（図68）

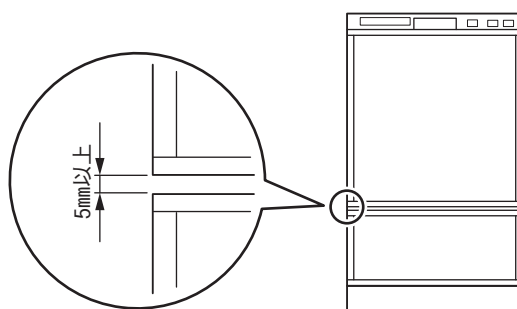
③ ドアが閉じた状態で上フロントパネルと下フロントパネルのすき間が5 mm 確保されているか確認します。（図69）

④ ドアが閉じた状態で下フロントパネルを上フロントパネルに当たるまで持ち上げてから手前に引き、下フロントパネルが手前にはずれないことを確認してください。

⑤ 下フロントパネルが傾いていないか、隣のキャビネットと干渉していないか確認してください。

すき間が異なっていたり傾きがある場合は、下フロントパネルの金具のツメのかかりや金具取付板の位置を調整して、再取り付けしてください。（11ページ参照）

●調整後は、上フロントパネルと下フロントパネルのすき間が5 mm 以上になっているか確認してください。



（図69）

チェックリスト

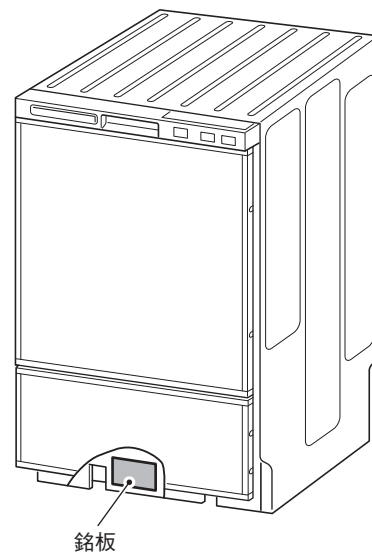
点 検		点 検 内 容	参照ページ	チェック
機 器 の お よ び	電 源 (電 圧)	銘板表示と使用電源が適合していますか。	P7	
	ド ア の 開 閉	他の機器への障害はありませんか。	P6	
	転 倒 防 止 金 具 移 動 防 止 金 具	転倒防止金具および移動防止金具は取り付けましたか。	P15、 P18、 P21	
	同 梱 部 品	部品の不足はありませんか。また正しく取り付けられていますか。 梱包部材、固定用テープは取り除きましたか。	P4、 P22	
給 排 湯 水 (給 水) ・ 続	給湯器との接続の場合	指定する給湯器に接続されていますか。	P8	
	フィルター付パッキン	フレキシブルホースと止水栓との接続部にフィルター付パッキンを挿入しましたか。	P21	
	排 水 ホ ー ス	排水管との接続部は確実に接続したことを確認しましたか。また押しつぶされたり、無理に折れ曲がったりしていませんか。	P21	
電 気 接 続		電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V 15A のアースターミナル付埋め込みコンセントに接続しましたか。	P7	
		アース線を接続しましたか。	P7	

※点検・修理の際には製造番号の確認が必要になることがあります。

製造番号は、銘板またはあんしん点検銘板に表示してあります。

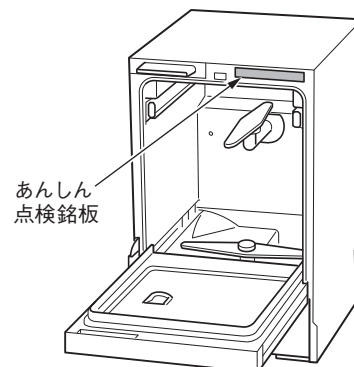
〈銘 板〉

食器洗い乾燥機			
定格電圧	100V		
周波数	50/60Hz		
電動機定格消費電力	130/170W		
ヒータ定格消費電力	800W		
製造番号		PSE	
製造者	リンナイ株式会社		
型式		JQA	
Ⓜ J W W A			
認証登録番号 B-6 RN(O)		消防法 基準適合 組込型 可燃物からの離隔距離 (cm) 上方 側方 前方 後方	



〈あんしん点検銘板〉

品名コード:		
型式:		
製造年月:	年 月	
製造番号:		



(図70)

●試運転で以下のように表示部が点滅してブザーが鳴るときは下記内容を確認してください。

表示（前面操作部）	原因	処置
17	機内の水漏れ不良 本体内部から水漏れしている。	●水漏れのおそれがあります。 ●至急お買い上げの販売店にご連絡ください。 ●水道栓（元栓またはキャビネット内の止水栓）を閉めてください。 ●配電盤のブレーカは OFF にしないでください。 ●排水ホースが折れていないか確認してください。
18	給水中の水漏れ不良 給水中に水漏れしている。	●電源を「切」にする。 ●断水の場合は、断水の回復を待って運転する。 ●水道栓（元栓およびキャビネット内の止水栓）は必ず開栓する。 ●フィルター付パッキンに付着している異物を除去する。
56	給水不良 ・断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため。 ・フィルター付パッキンに給湯（給水）管内の異物がつまり、給水ができないため。 ・水圧が低いため。	●ドアを開け、給水口から水が出ていないか確認する。（22ページの図53参照）水が出ている場合は、水道栓を閉めてください。 ●至急お買い上げの販売店にご連絡ください。 ●配電盤のブレーカは OFF にしないでください。
	止水不良 給水弁に異物がつまり止水できない。	
60	排水不良 排水ホースの折れやつまりによって、洗浄槽内の水が排水できないため。	●電源を「切」にする。 ●排水ホースに折れぐせがついていないか確認する。（折れぐせがついている場合は直す。）
すべてのランプが点滅	ドア不良 ドアが完全に閉まっていない位置で「スタート／一時停止」ボタンを押した。	●ドアを完全に閉める。

■設置事業者様へ

- 取扱説明書によって、使用方法を説明してください。特に「安全上のご注意」「使用方法」をよく説明してください。
- 保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しして、取扱説明書に従って、「保証・サービス」について説明してください。

■お客様への取り扱い説明

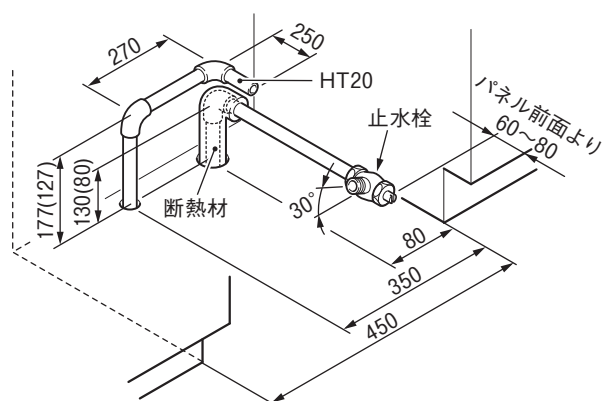
- ①取扱説明書にそって製品の取り扱いを説明してください。
- ②水槽内に食器かご、小物入れが入っていることを確認してください。
- ③保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。

幅45cm フロントオープンタイプの食器洗い乾燥機からの変更工事(例)

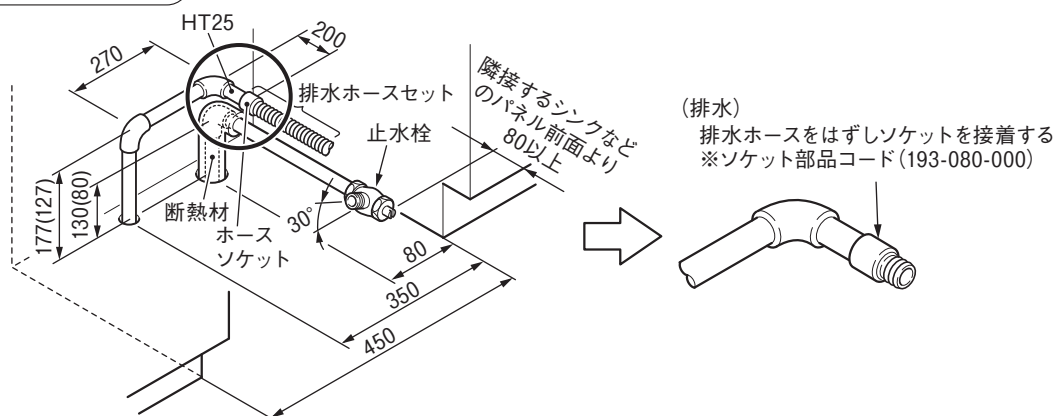
※キッチン奥行60cm の場合は、以下の配管は使用できません。 9 ページの工事例のように修正してください。

(パナソニック品) の場合

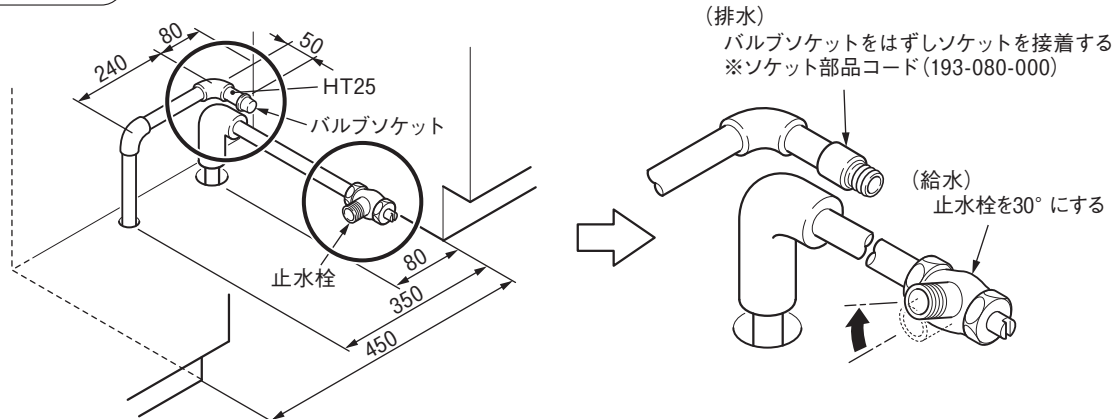
- 変更工事は必要ありません。



（ハーマン品）の場合

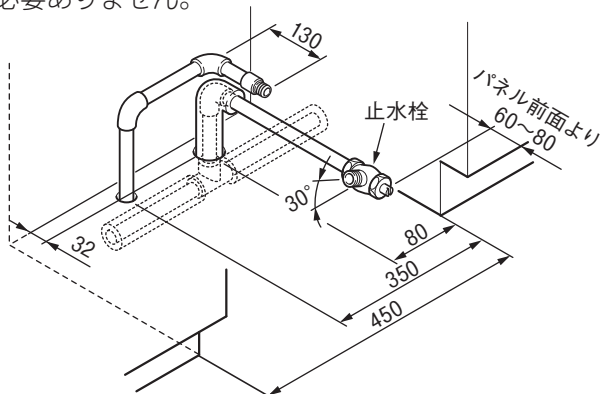


(日立品) の場合



(リンナイ品) の場合

- ◎変更工事は必要ありません。



※ソケットは取りはずさないで、そのまま利用してください。

17 仕 様

型 式		RKWR-F402CA	RSW-F402CA
電 源 電 圧		AC100V	
周 波 数		50Hz/60Hz	
定 格 電 流		9.3/9.7A [50/60Hz]	
消費電力	洗 浄 モ ー タ	130/170W [50/60Hz]	
	ヒ ー タ	800W	
	最 大 消 費 電 力	930/970W [50/60Hz]	
外 形 寸 法		(幅) 448mm × (奥行) 564mm × (高さ) 755~855mm	
製 品 質 量		約30.0kg	
水 圧		0.03~ 1 MPa (0.3~10kgf/cm ²)	
洗 浄 方 式		上下 2 段ノズル噴射による加熱洗浄方式	
すすぎ方式		ためすすぎ方式	
乾 燥 方 式		ヒータ間欠通電とファンによる強制排気乾燥	
庫 内 容 積		66L	
標準収納容量		大皿 6点・中ばち 6点・小皿 8点・ 茶わん 6点・吸物わん 6点・ 湯のみまたはコップ 6点・はし 6組・ スプーン 6点・フォーク 6点	大皿 8点・中ばち 9点・小皿 10点・ 茶わん 8点・吸物わん 8点・ 湯のみまたはコップ 13点・はし 8組・ スプーン 8点・フォーク 8点

※電源プラグを差し込んだ状態では電子回路を作動させるため、約1W 電力を消費しております。



(工場管理)

JW0006-826×03 (00)
231200A
07000008094400